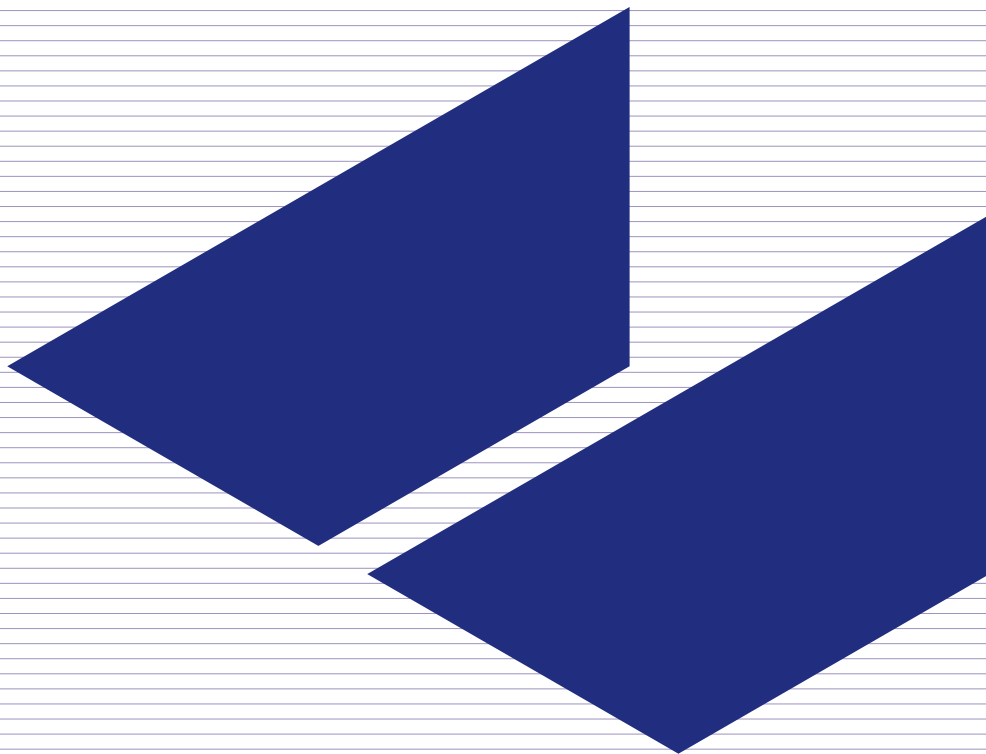
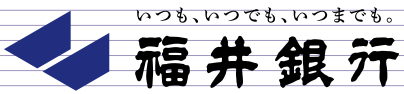


FUKUI BANK REPORT
2021.3
統合報告書
(ディスクロージャー誌2021[本誌])



目指すのは 「地域産業の育成・発展と 地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」

「地域産業の助成こそ使命」という創立当時の想いは、
企業理念となって120年たった現在も変わらず受け継がれています。

Mission

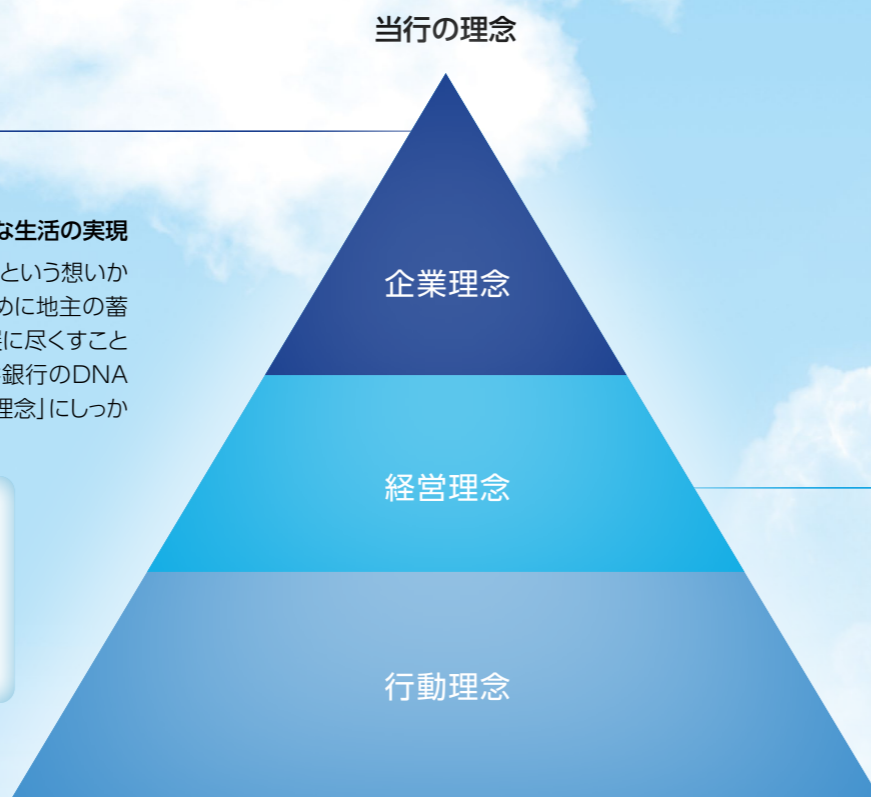
存在意義

地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現

福井銀行は、明治32年「地域産業の助成こそ使命」という想いから、当時盛んになり始めた繊維産業を育成するために地主の蓄積した資本を結集して設立。地元を愛し、その発展に尽くすことを第一義とする無私の精神は、創立当初から福井銀行のDNAに深く刻まれ、120年たった現在も変わらず「企業理念」にしっかりと受け継がれています。

いつも、いつでも、いつまでも。

企業理念を原点とした「地域とともに」という福井銀行の想いを表した企業スローガンです。全職員から公募を行い、1,600を超える作品の中から採用されました。



Action

役職員の日々の行動

誠実 × 情熱 × 行動

「誠実」…相手を大切に思い、
「情熱」…強い信念を持ち、最後まで諦めず、
「行動」…実際の働きで示す

今日の誓^{*1}

- 自己を反省して人の悪口を言はざること
 - 四恩^{*2}を感謝して吾職務に精励すること
- 右 今日一日の務めとして実行を誓ひます

^{*1} 「今日の誓」は創立者・市橋保治郎が禅の思想に基づき提唱したもので、福井銀行職員は、この「今日の誓」を行動のバックボーンとして業務に精励しております。

^{*2} 四恩・・・先祖の恩、国家の恩、社会の恩、神仏の恩

Commitment

経営のコミットメント

トライアングル・バランスの実現

福井銀行グループは豊かな地域社会の実現のために

- 「職員の満足(働きがい)」
 - 「お客さま(地域)のご満足」
 - 「株主の方々(投資家のみなさま)のご満足」
- をバランスよく高める経営を実現します。

Contents

- 3 福井銀行のあゆみ
- 5 頭取インタビュー
- 9 福井銀行の価値創造プロセス
- 11 短期経営計画
「企業理念」の実現に向けて(第2章)
- 13 Fプロジェクト
- 15 財務ハイライト
- 17 非財務ハイライト
- 19 法人のお客さまへ
- 29 個人のお客さまへ
- 31 地域のみなさまへ
- 43 コーポレート・ガバナンス

当行の概要

(2021年3月31日現在)

名 称	株式会社 福井銀行 (The Fukui Bank, Ltd.)		
所 在 地	〒910-8660 福井県福井市順化1丁目1番1号		
電 話	0776-24-2030(代表)		
ホームページ	https://www.fukuibank.co.jp/		
設 立 年 月 日	1899年12月19日		
資 本 金	179億65百万円		
従 業 員 数	1,349名(出向者、嘱託および臨時職員含めず)		
店 舗	有人店舗数/77か店	店舗内店舗数/18か店	
	その他/3か店	合計/98か店	
	※店舗内店舗:他の当行店舗内に併設移転した店舗 ※その他:振込専用支店、ジュラチック王国支店(インターネット支店)、小浜支店名田庄営業室(毎週水曜日(休祝日除く)のみ営業)		
	店舗外自動機設備/117か所	(ATM運営会社・セブン銀行・ローソン銀行との共同設置を除く)	
主 要 勘 定	預金等残高	2兆7,837億円	
	貸出金残高	1兆8,010億円	
	有価証券残高	7,262億円	
株 式 の 状 況	発行済株式総数	24,144千株	株主数 8,239名

編集方針

当行グループは、「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」という企業理念の実現のため、当行を取り巻くステークホルダーの満足をバランス良く高める経営に努めており、ステークホルダーのご満足を得るためには、企業情報の適切かつ公平、正確なディスクロージャーが必須なものであることを認識しております。こうした観点から、国際統合報告評議会(IIRC)が発表した「国際統合報告フレームワーク」を参考にした統合報告書を作成しております。本報告書を通じ、年次業績と中長期的な地域の発展と企業価値向上に向けた取組みをお伝えし、さらなる対話のきっかけになることを目指しております。

また、本報告書は、銀行法第21条に基づくディスクロージャー資料(業績および財産の状況に関する説明資料)を兼ねています。ディスクロージャー誌としてご利用の際は、本報告書ならびに「FUKUI BANK REPORT 2021.3 [資料編(WEB版)]」(当行本支店で縦覧および当行ホームページhttps://www.fukuibank.co.jp/に掲載)をあわせてご覧ください。

報告対象期間・範囲

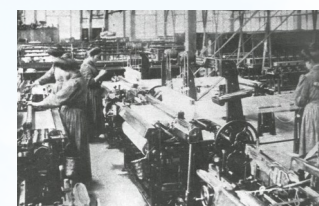
報告対象期間は、2021年3月期(2020年4月1日~2021年3月31日)です。ただし、必要に応じて当期間の前後についても言及しています。データの集計範囲は、株式会社福井銀行およびグループ会社です。

見直しに関する注記

本報告書には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比が異なる可能性があることにご留意ください。

地域とともに、お客さまとともに

福井銀行は、地域の産業を支援するために地元の資本を結集して誕生し、その後、地域から求められるニーズに応じて事業領域を拡大してまいりました。地方創生が叫ばれるなか、引き続き質の高い総合的な金融サービスをスピード感をもって提供し、地域経済の発展に貢献してまいります。



人絹糸担保金融を開始
全国に先がけて人絹糸と人絹織物を担保とした融資を始めました。羽二重の衰退に直面する地域産業にとっての新たな道を切り開いた事業です。

1924

1899

株式会社福井銀行設立

(設立日12月19日、資本金30万円、本店福井市) 当時、盛んになり始めた繊維産業を育成するため、地主の蓄積した資本を結集して設立されました。「地域産業の助成こそ使命」。それが創立者・市橋保治郎たちの想いでした。地域のお客さまのためにできることは何か。その挑戦は100年以上前から始まっていたのです。



空襲・福井大震災からの復興
「復興は地元銀行から」を合い言葉に、福井銀行はいち早く復興本部を設置。度重なる被災で力を落とした地域経済の立て直しに全力で取り組みました。



1945-1950頃

1972

当行株式が東京証券取引所市場第2部、大阪証券取引所市場第2部に上場

(1973年8月両取引所市場第1部に指定)

1982

福井信用保証サービス株式会社を設立

1983

福銀住商リース株式会社を設立

(1997年4月株式会社福銀リースに商号変更)

株式会社福井経済経営研究所を設立

1986

株式会社福井ディーシーカードを設立

(2014年2月株式会社福井カードに商号変更)

福銀ビジネスサービス株式会社を設立

2012

「コーポレートブランドマーク」「スローガン」新規制定

2014

バンコク駐在員事務所開設

2015

株式会社福井キャピタル&コンサルティングを設立

1997

福銀ネットワーク株式会社を設立

(2000年10月株式会社福井経済経営研究所を吸収合併し、福井ネット株式会社に商号変更)

2007

委員会設置会社(現在の指名委員会等設置会社)へ移行



2020

新本店ビル完成

メインコンセプト「地域をつなぎ、未来を創る」人が集まりチャレンジの生まれる新本店ビルに相応しい、地域をつなぎ、未来を創る場を目指します。

デザインコンセプト「紡ぐ」

福井の伝統産業である繊維業に着目した「紡ぐ」。小さな物を寄り集めて一つの物を創る行為、人が集まりつながる様子、歴史を未来へ継承すること等を連想することができます。

2020

福邦銀行との地域経済の発展に向けた包括提携

本提携の名称は「F(エフ)プロジェクト」としました。福井銀行と福邦銀行が手を取り合うことで福井県の持続的発展に貢献し、福井の未来を創造していくためのプロジェクトという意味を込めています。

2021

福邦銀行とのシナジー創出の早期実現と効果の最大化のため資本業務提携を締結

Fプロジェクトにおける業務提携のさらなる加速・深化を目指し、資本業務提携を締結しました。2021年10月に福邦銀行が実施する普通株式による第三者割当増資を福井銀行が引受け、福邦銀行は福井銀行の連結子会社となる予定です。



グループ会社のご紹介

株式会社福井キャピタル&コンサルティング

主な業務内容

- 各種ファンド運営業務(ベンチャーキャピタル、地域活性化ファンド)
- 企業経営に関するコンサルティング業務(M&A、事業承継、人事労務)
- 経営相談(経営計画の策定支援)
- 経済、産業等に関する調査研究

各種ファンドの管理運営と幅広いコンサルティング、シンクタンク機能にて、お客さまの成長をあらゆる観点からお手伝いするとともに、地域の交流人口を増やすための施策づくりをサポートしています。

福井信用保証サービス株式会社

主な業務内容

- 住宅ローン等の信用保証業務

福井銀行の住宅ローン等をご利用いただく際、お借入れの連帯保証人として信用を補完することで、お客さまのライフプランをサポートしています。

株式会社福井カード

主な業務内容

- クレジットカード業務
- 金銭消費貸付業務
- 信用保証業務

個人・法人向けクレジットカード業務、加盟店業務を通じて、お客さまが安心してご利用いただける様々なキャッシュレス決済サービスを提供しています。

株式会社福銀リース

主な業務内容

- 総合リース
- 割賦販売

情報関連機器・産業機械・土木建設機械・医療機器・商業設備など、お客さまのあらゆる設備導入ニーズにお応えし、事業拡大と効率的な経営をサポートしています。

福井ネット株式会社

主な業務内容

- 福井銀行グループのシステム開発・運用、ICTに関する企画・推進
- お客さまに対するICTコンサルティング
- 代金回収業務

福井銀行グループにおけるシステム開発・運用業務を担うとともに、お客さまに対する業務効率化や生産性向上に資するコンサルティングを提供しています。

地域とともに、 お客さまとともに、 時代の変化に合わせて 成長する

取締役 兼 代表執行役頭取
林 正博



Q 2021年3月で終了した中期経営計画『「企業理念」の実現に向けて(第1章)』の総括をお願いします。

2021年3月期は、新型コロナウイルス感染症の拡大による混乱のなかでスタートしましたが、上期後半より徐々に経済活動が再開し、下期は回復基調で推移したことにより、通期では増収増益となりました。2020年2月頃から新型コロナウイルス感染症が拡大しはじめ、資金繰りに窮する企業が増えてくることが予想されたため、感染拡大の初期段階からお取引先をすべて訪問して状況把握を行い、緊急的に資金が必要なお取引先に対する「資金繰り支援」と今後の事業継続のための「本業支援」の両面から迅速かつきめ細かい対応を行ってきました。12月以降は、法人営業担当者全員が担当するお客さま

最低1社の課題解決をお手伝いする活動「One to One Hold (ワントゥワンホールド) 作戦」を行ってきました。こうした様々な取組みを重ねる中、コロナ禍による経済活動の停滞に加え、金融緩和によって利ざやが縮小する厳しい環境でしたが、地域金融機関としての使命を果たすことができました。

この3月で終了した中期経営計画『「企業理念」の実現に向けて(第1章)』では、お客さまとの接点を増やし、悩みや課題にしっかりと寄り添い、経営改善や事業拡大のお手伝いを行ってきた成果として、お客さまの事業の活性化を図り、資金需要の増加につなげることを目指してきました。事業性融資先数および中小企業向け貸出残高の目標を達成できたのは、法人のお客さまに質の高い課題解決策を実践することができた結果であり、高く評価

中期経営計画『「企業理念」の実現に向けて(第1章)』(2018年4月～2021年3月)計数目標と実績

	2018年3月期 実績	本中期経営計画期間	
		2021年3月期 目標	2021年3月期 実績
事業性融資先数	9,848先	10,500先	10,985先
中小企業向け貸出残高	4,758億円	5,300億円	5,687億円
預り資産保有先数*	33,965先	40,000先	39,773先
消費者ローン先数	66,037先	70,000先	62,887先

*投信、公共債、仕組債、外貨預金

しています。一方で、個人のお客さまに対する資産形成および資金調達のご支援については、コロナ禍でお客さまとのコミュニケーションの機会が制限されたことやお客さまの消費活動が制限されたこともあり、預り資産保有先数は目標をほぼ達成できたものの、消費者ローン先数の目標は未達となりました。

Q 4月よりスタートした短期経営計画『「企業理念」の実現に向けて(第2章)』は、なぜ1年間の経営計画なのでしょう?

新型コロナウイルス感染症の影響が現時点では見通せないこと、また本年3月に福邦銀行と資本業務提携契約に合意し、シナジー効果の最大化・最速化に向けた両行協働による取組み「Fプロジェクト」が当行グループに及ぼす影響を現時点で見通すことが困難であるため、新たな経営計画は2021年4月から2022年3月までの1年間の計画期間とし、計数目標の設定も見送りました。1年間で当行グループの土台を向上させ、次代の飛躍につなげていきます。

前中期経営計画では、福井県内の人口減少と急激な少

子高齢化の進展が想定されるなか、福井がこれからも持続的に発展するため、地域の「働く場所」「働く人」をふやすことを最重要課題として取り組んできました。こうした取組みは、着実にお客さまの成長の機会と地域未来のチャンスを創り上げてきたものと考え、地域金融機関として当行の取組みの方向性は間違っていないものと自負しております。

2021年4月からスタートした短期経営計画では、地域・お客さまへの課題解決の取組みを継続するとともに、環境変化に柔軟に対応していくため、コンセプトを「変わらない姿勢」「変わり続ける組織」としました。これまで行ってきた地元福井の活性化に貢献したいという当行の強い思いは変わりません。引き続き、地域・お客さまのために何が必要かを考え、地域の持続的な発展に貢献することを目指します。一方で、急激な環境変化に対応し、新たな取組みにチャレンジしていく必要があります。組織体制および組織風土を変革し、「変わり続ける組織」を実践していくことで、持続可能な経営を実現したいと考えています。

Q それでは、3つのテーマについて伺います。まずはじめに「コンサルティング機能の発揮」について教えてください。

2018年4月にコンサルティング業務を専門とする組織を立ち上げて以来、本部コンサルティング人員は倍増し、コンサルティング活動量は着実に増加しています。当行が行うコンサルティングは、経営課題の解決策の提案にとどまらず、お客さまに寄り添って解決策の実行までお手伝いすることが特徴です。フィーを前提としたコンサルティングではなく、まずは、お客さまの立場に立ち、お客さまのお役に立つ行動により、お客さまの成長・発展を支援するということです。長いお付き合いを通じてお客さまとの信頼関係が高まり、より深くお取引いただくことで、ともに成長していくことを目指しています。その実現に向け、今後は、銀行本体のみならず、リースを取り扱う福銀リース、企業経営のコンサルティングを行う福井キャピタル&コンサルティングなどの子会社との連携を強め、より質の高い課題解決策を迅速に提供していきます。また、中部縦貫自動車道の開通や北陸新幹線の

企業理念

地域産業の育成・発展と地域に暮らす
人々の豊かな生活の実現

短期経営計画

『「企業理念」の実現に向けて(第2章)』

(2021年4月～2022年3月)

地域とともに、お客さまとともに、
次の100年の礎をつくる期間

2つのコンセプト

- 変わらない姿勢
- 変わり続ける組織

3つのテーマ

- コンサルティング機能の発揮
- ワークプロセスの変革
- 人づくり革命

頭取インタビュー

敦賀延伸といった地域の発展につながる交通インフラ整備を目前に控え、官民連携によるまちづくりに継続的に関与していきます。

Q 2つ目の「ワークプロセスの変革」について教えてください。

「ワークプロセスの変革」は、業務の生産性の向上に向け、アウトプットの拡大やスピードアップの概念を含めた仕事の進め方(=ワークプロセス)の変革に組織的に取り組んでいこうとするものです。限られた経営資源で成果を最大限に発揮するため、経営戦略の実行において重要度の高いテーマ、高い効果が見込めるテーマをしっかりと見極め、グループ全体で体制整備や変革を進めます。前中期経営計画でも「選択と集中」をテーマに掲げ、営業店事務や本部業務を抜本的に見直し、業務の生産性向上を推進する一方で、お客さまとの接点拡大につながる本部や営業店における営業部門への人員再配置を行ってきましたが、こうした取組みを一層強化し、グループ全体での強い組織づくりを目指します。

Q 3つ目の「人づくり革命」について教えてください。

「人づくり革命」は前中期経営計画の4つのテーマのうち、最も力を入れて取り組んでいたテーマであり、今後もその重要性は変わりません。「コンサルティング機能の発揮」「ワークプロセスの変革」の土台として、引き続き、人づくりに取り組みます。まずは、職員一人ひとりの成長を支援すること、そして、組織力を高めるためのマネジメント改革および職員間・部署間・会社間のベクトルを合わせるにより、グループとしての連携を深めグループとしての力を高めていきます。また、企業理念の実現に向けて、高い使命感・高い目標を持ち、結果に拘って取り組むこと(=厳しさ)と、職員の心理的安全性を確保し、チームとして支えていくこと(=温かさ)を両立させる考え方にに基づき、制度、風土改革を行っていきます。これらにより、職員一人ひとりが働きがいを感じら

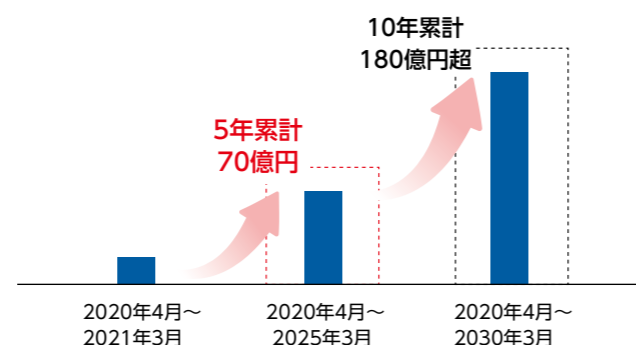
れる企業風土づくりを目指していきます。

Q 福邦銀行と資本業務提携の締結に合意した意図について教えてください。

長引く新型コロナウイルスの感染拡大の継続など、厳しい経営環境の継続を見据え、地域の持続的発展に寄与していくためにはシナジー創出の早期実現と効果の最大化が必要と考え、資本業務提携契約を締結し、2021年10月に福邦銀行が実施する普通株式による第三者割当増資を福井銀行が引受けることとなりました。2019年9月に両行の連携・協働に向けた検討を開始し、2020年3月には「地域経済の発展に向けた包括提携(Fプロジェクト)」を締結しました。Fプロジェクトでは、両行協働でお取引先への商談・セミナーの共催や商品・サービスの共同提案、先導的人材マッチング事業の共同採択、福邦銀行小松支店の当行小松支店内への移転、当行が運営する電子マネーカード「JURACA」の共同募集などを進めてきました。こうした取組みをさらに加速・深化させ、シナジー効果を最大化・最速化するため、資本業務提携に至りました。

こうした状況を踏まえ、2020年3月時点では、両行の連携・協働によるシナジー効果として、お客さま価値向上によるトップライン増強、投資抑制や体質強化によるコスト削減をあわせて5年累計で40億円(両行合算)と試算していましたが、2021年5月には5年累計で70億円、10年累計で180億円超(両行合算)に上方修正しました。資本業務提携に伴い、福井銀行グループは福井県に本店を置く福井銀行、福邦銀行の2ブランドによる、県内

シナジー効果の概算



の預金シェアで55%、貸出金シェアで49%を占める金融グループとなります。今後は、その他の子会社も含めたグループ経営を強め、一体感を持って地域の発展に貢献していきます。

Q 両行の提携は順調に進んでいるようですが、地域や両行の持続的発展に向けた今後の施策はどのように考えていますか？

お客さまや地域のニーズに応える新事業会社2社の運営を予定しています。1社は、中部縦貫自動車道の開通や北陸新幹線の敦賀延伸といった地域の発展につながる交通インフラ整備を目前に控え、両行協働でインバウンド向けの観光商品の開発および販売を行う観光地域商社を設立し、交流人口増加や地域活性化に取り組んでいきます。もう1社は、人材派遣・人材紹介会社を設立する予定です。福井県では人材不足が企業成長・事業承継を阻害する大きな要因となっているため、専門人材の紹介や両行OBの派遣・紹介などによって企業の経営課題の解決に貢献していきます。

また、効果的・効率的な業務運営に向けて、両行の本部機能の統合を進めていきます。お客さまと関わりをもつ営業や融資、企画・人事部門は独立性を維持しますが、有価証券運用などの市場部門、総務、管理、監査などの本部機能は統合していきます。加えて、店舗ネットワークの最適化を図り、2025年3月末までに店舗数の約2割削減、ATMの約1割の削減を目指します。一方で、お客さまとの接点となる営業・コンサルティング担当者の増員による課題解決力の強化を図ります。

Q 最後に地域に果たす役割と将来像を教えてください。

当行は、2012年に地域金融機関としての存在意義を見つめ直し、『お客さまが「そばにいてほしい」と思う日本一の銀行』になることを宣言し、企業理念である「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」に向けて着実に歩みを進めてきました。しかしながら、



外部環境が急激に変化するなか、今まで取り組んできたことの延長線では企業理念の実現までに多くの時間を要するため、今まで以上にスピード感を上げ、当行グループが一体となってFプロジェクトやビジネスモデルの創造をはじめとする新たな取組みにチャレンジしていく必要があります。

2019年に創立120周年を迎え、120年目の節目の象徴として2020年12月には新しい本店ビルがグランドオープンし、これからも地域に根差し、地域とともに歩んでいくという決意を新たにしました。この短期経営計画での1年間は、120年の歴史を守り、これからの未来を創っていくための礎をしっかりと築く期間と位置づけています。1年間で当行グループの土台をもう一段高いレベルに引き上げることができれば、2022年4月からスタートする新たな経営計画においても、より高い位置からスタートすることが可能になります。将来に向けた礎を創り出し、この礎を基に、企業理念の実現に向けた取組みを飛躍的に加速させていきます。

活用する資本

価値創造を支える事業活動

創出する価値

「お客さま理解」を核とした好循環で

持続可能な社会の形成に貢献

財務資本

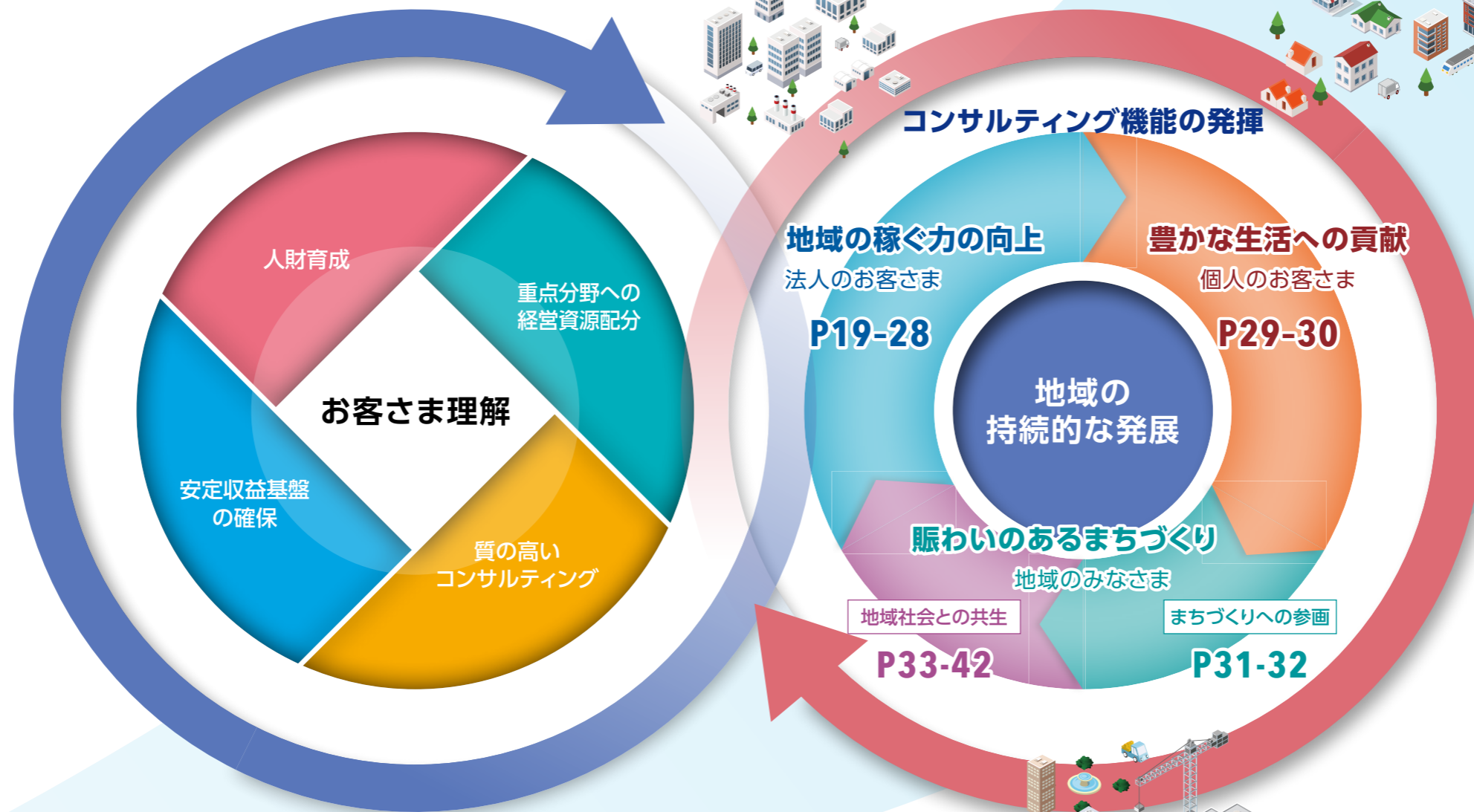
- 充実した自己資本(単体)… 1,104億円
- 健全な貸出資産 …… 18,010億円
- 収益構造の多様化
- 高度なリスク管理

人的・知的資本

- 強力な人財集団
従業員 …… 1,349名
- 長い歴史と経験で培った
高い地域専門性とノウハウ
- 多様性・健康・やりがいを重視する
企業風土
- グループ内の組織間連携を通じた
多様な機能の結集

社会関係資本

- 強固な顧客基盤
福井県シェア
貸出金 …… 40.0%
預金 …… 47.4%
- 地方公共団体との連携
連携協定締結 …… 15自治体
- 国内外に広がるネットワーク
国内有人店舗数 …… 77か店
海外駐在員事務所 …… 1事務所
- 地域に密着したATM網
- 歴史に裏打ちされた確固たる信頼感



お客さま

- お客さま満足の向上
- 課題解決と最適なソリューションの提案
- 「お客さま本位」の資産形成・資産継承

地域

- まちの賑わい創出
- 持続可能な社会の実現
- 地域社会の課題解決

職員

- 一人ひとりの自己実現
- 多様性の尊重
- ワークインライフの実現

株主

- 中長期的な株主価値の向上
- 透明性の高い情報開示

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

企業理念

地域産業の育成・発展と
地域に暮らす人々の豊かな生活の実現

短期経営計画

「企業理念」の実現に向けて(第2章)

地域金融機関を取り巻く環境は、金融緩和政策の長期化、異業種の銀行業への参入、基盤地域の人口減少、少子高齢化の進展、さらには新型コロナウイルス感染症の拡大など、先行きが不透明かつ厳しい状況が続いています。

一方で、福井県では、中部縦貫自動車道の開通や北陸新幹線の県内延伸などの交通網の整備により、ビジネス環境が大きく変化していくことが見込まれます。

このような激動の環境下において、短期間で組織力を向上させるべく、期間1年の短期経営計画『「企業理念」の実現に向けて(第2章)』を策定いたしました。

下記の3つのテーマのもと、福井県の持続的発展に貢献していくとともに、当行の経営基盤の確保と強い経営体質の構築を実現してまいります。

短期経営計画(概要)

タイトル	「企業理念」の実現に向けて(第2章)	
期間	2021年4月～2022年3月	
位置付け	地域とともに、お客さまとともに、次の100年の礎をつくる期間	
コンセプト	変わらない姿勢	変わり続ける組織
テーマ	コンサルティング機能の発揮	ワークプロセスの変革
	人づくり革命	
	〈お客さま(地域)〉 コロナ禍におけるお客さま(地域)への力強い貢献	〈組織体制・株主〉 グループ全体での強い組織づくり
方針	<ol style="list-style-type: none"> 資金支援・本業支援の徹底 お客さま理解の真の定着 お客さまチャネルの多様化・最適化 官民連携によるまちづくりへの参画 	<ol style="list-style-type: none"> IT戦略・ITガバナンスの実行 成果を出し続けるための最適な経営資源配分(戦略の選択と集中) 第2領域への最適な時間配分(業務の選択と集中) 投資運用の多様化 環境変化に対応するためのリスクコントロール グループ経営の確立 新たなビジネスモデルの創造 Fプロジェクトの前進 ステークホルダーへの発信力強化
アクションプラン	〈職員〉 働きがいのある企業風土づくり <ol style="list-style-type: none"> 職員一人ひとりの成長支援(スキル×マインドの向上) 連携が生み出すチーム力の発揮(マネジメント改革・ベクトル共有) 「厳しくて温かい」制度・風土改革 	

変わらない姿勢、変わり続ける組織

当行は2015年4月より一貫して行っている「事業性理解」「お客さま理解」に基づく活動を今後も継続し、「変わらない姿勢」でお客さまをご支援することをお約束します。

また、急激な環境変化に対応するため、組織体制および組織風土を変革し、「変わり続ける組織」を実践していくことで、持続可能な経営を実現することもお約束します。



Fプロジェクト

地域経済の発展に向けた包括提携

福井銀行と福邦銀行は、Fプロジェクトにおける業務提携のさらなる加速・深化と、両行におけるシナジー創出の早期実現と効果の最大化のため、資本業務提携を締結しました。両行の2ブランドを維持することで、それぞれの強みを活かした金融グループとして一層の地域経済の持続的発展への貢献や、これまで以上に質の高いお客さま向けサービスの提供に努めてまいります。



1 資本提携締結の概要

福邦銀行との資本提携締結までの歩み

- 2019年 9月 包括提携の検討開始
- 2020年 3月 地域経済の発展に向けた包括提携（Fプロジェクト）の締結
- 2021年 1月 資本提携に係る基本合意の締結
Fプロジェクト推進委員会の創設
- 2021年 5月 資本提携に係る最終契約の締結
- 2021年10月 福邦銀行が実施する普通株式による第三者割当増資を福井銀行が引受け（予定）



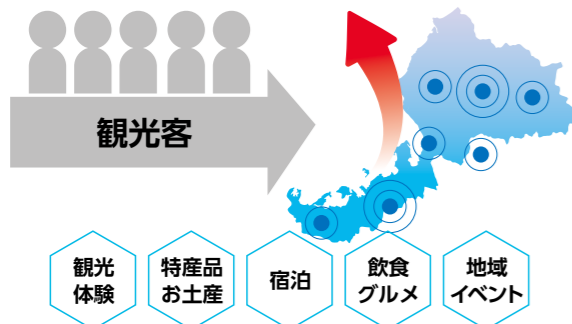
2 今後のシナジー創出の早期実現と効果の最大化に向けて

お客さま・地域に対して

北陸新幹線敦賀延伸を見据えたサービスの高度化・多様化によるGRP（地域内総生産）増加への貢献

●観光地域商社の共同運営

インバウンド向け観光商品の開発ならびに販売などを行う観光地域商社の共同運営などを通じて、交流人口をふやし地域活性化に貢献します。



●地域内M&A・ビジネスマッチングの協働

地域内のM&Aを主導し、事業承継支援を強化するとともに、新たな販売先や仕入先など、お客さまの課題を解決できるビジネスパートナーを相互に紹介します。

●人材派遣・人材紹介会社の共同運営

外部の人材紹介会社との連携による専門人材の紹介や、両行OB・OGの派遣あるいは紹介を共同運営し、両行の取引先企業の成長・発展に貢献します。



●まちづくりの協働

自治体との連携や福井駅を中心とした北陸新幹線停車駅の駅前再開発事業へ参画します。

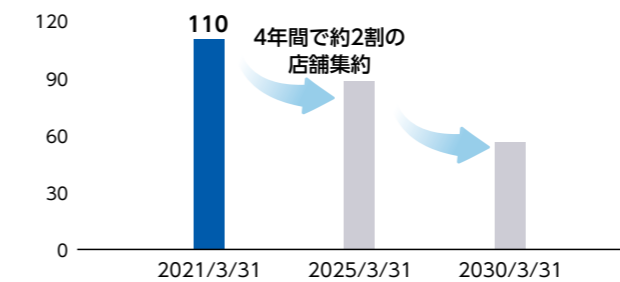
効果的・効率的な業務運営に向けて

コスト削減と経営資源再配分による地域を支えるための経営体質強化

●店舗戦略の連携強化

営業エリア内における店舗の重複解消による店舗ネットワークの最適化を図るため店舗再編を進めるとともに、人員再配置により営業・コンサルティング担当者を拡充し、課題解決力を強化します。

拠点数(両行合算)

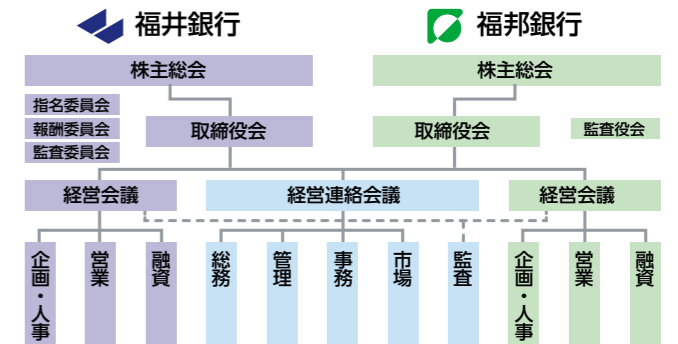


●共同ATMの拡充

店舗内外での同一拠点においてATM台数見直しとともに共同ATMの設置を進め、利便性の維持とコストの削減を図ります。

●本部機能の統合

営業部門・融資部門・一部企画部門以外の本部機能・人員を同一拠点に集約して、事務フロー・システム・ネットワークなどの共通化を図りながら効率的な業務運営を行います。



人の融合・未来に向けて

地域と両行の未来を創造できる人財の創出

●Fデザインの推進

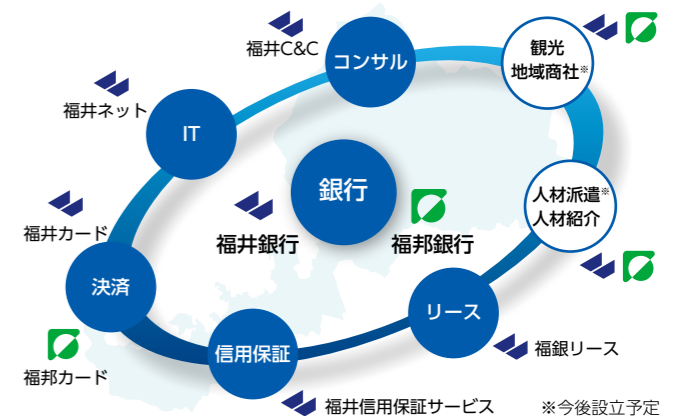
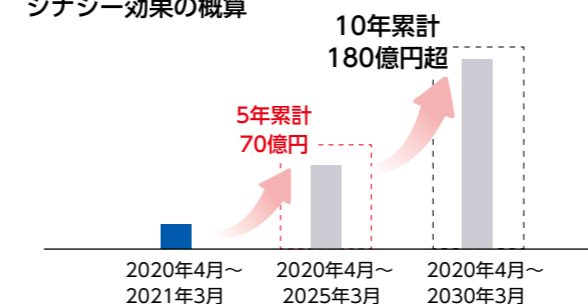
地域と両行の未来の創造に向けて、両行職員の一体感をデザインしていく取組み「Fデザイン」を推進します。複数テーマの活動を通して心の融合と相互の成長を図り、地域と両行の未来を創造し、両行の理念を実現できる人財を創出します。



3 グループ経営とシナジー効果の概算

福井銀行と福邦銀行は、1つのグループとして、グループ会社の機能を活用し、総合金融サービスを提供することにより、地域および両行グループのお客さまの発展に貢献してまいります。

シナジー効果の概算

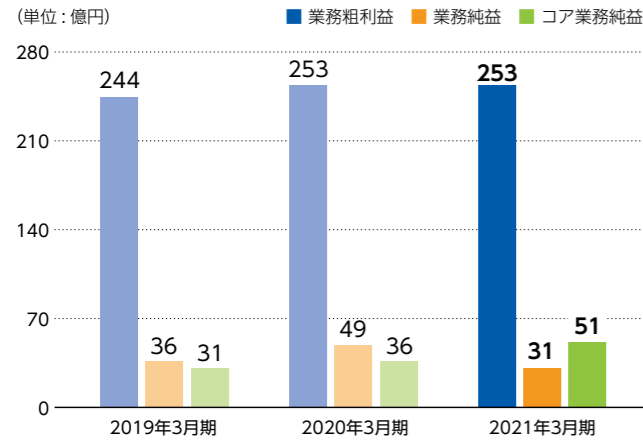


財務ハイライト

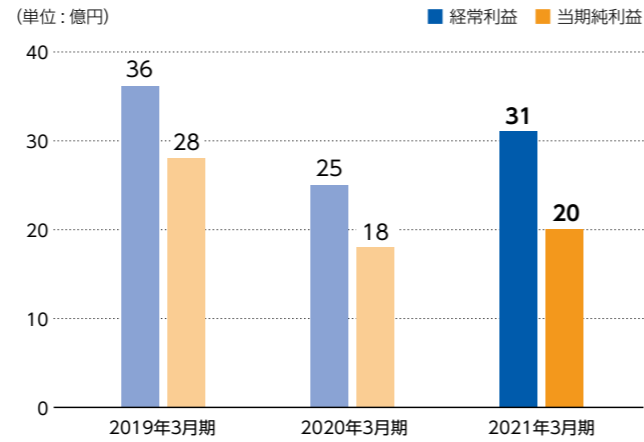
2021年3月期の決算についてお知らせします。

■ 主要損益の状況

業務粗利益・業務純益・コア業務純益〈単体〉

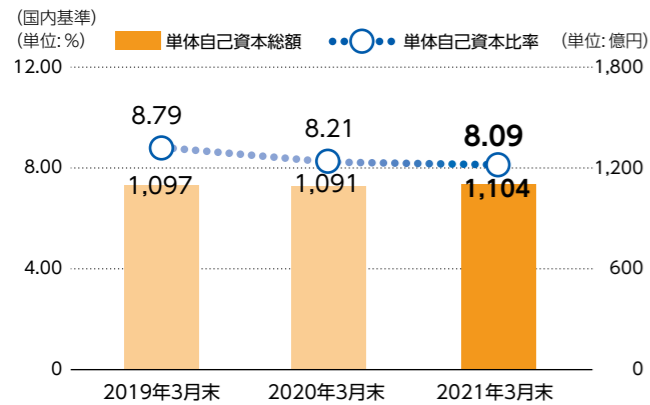


経常利益・当期純利益〈単体〉



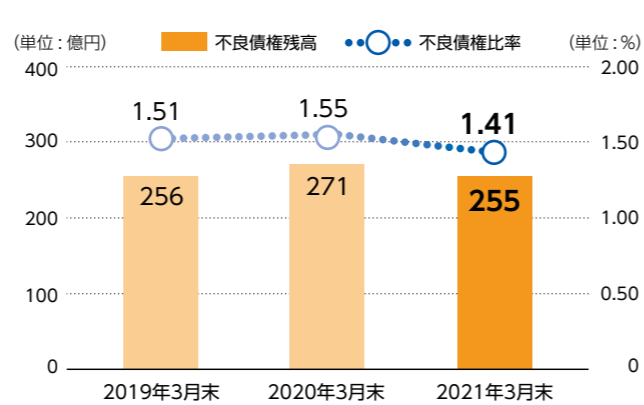
業務粗利益は、貸出金利息が減少したものの有価証券利息配当金が増加したことから、前期比横ばいとなりました。
 業務純益は、前期は戻入となった一般貸倒引当金が増えたとことから、前期比減益となりましたが、銀行本来の利益を示すコア業務純益については、前期比増益となりました。
 経常利益および当期純利益は、個別貸倒引当金繰入額が減少したことから、前期比増益となりました。

■ 自己資本比率〈単体〉



2021年3月末の単体自己資本比率は、貸出金や有価証券の増加を主因としたリスクアセットの増加により8.09%と前期末比低下しておりますが、健全性を十分に確保しています。

■ 不良債権



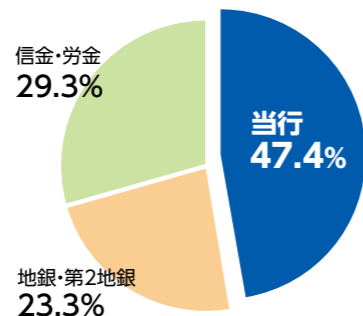
2021年3月末の不良債権残高は、不良債権処理を進めたことで前期末比15億円減少し、255億円となりました。
 また、総与信に占める割合は、前期末比0.14ポイント改善して1.41%となりました。

■ 預金・貸出金シェア

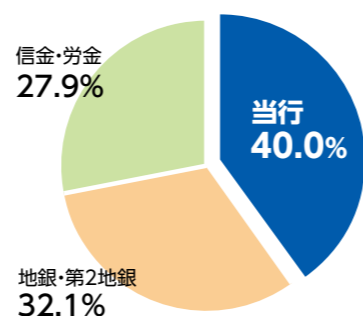
(2021年3月末現在)

お客さまからの高い信頼に支えられて、福井県内において、福井銀行は、預金・貸出金ともにトップシェアを保っております。引き続き、地域のみなさまから信頼される銀行を目指してまいります。

福井県内の預金シェア

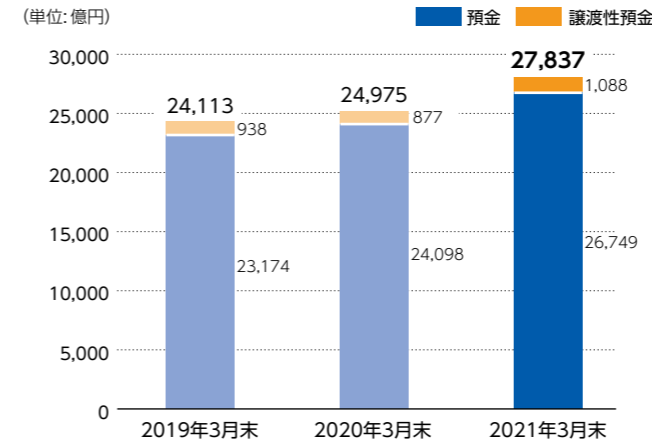


福井県内の貸出金シェア



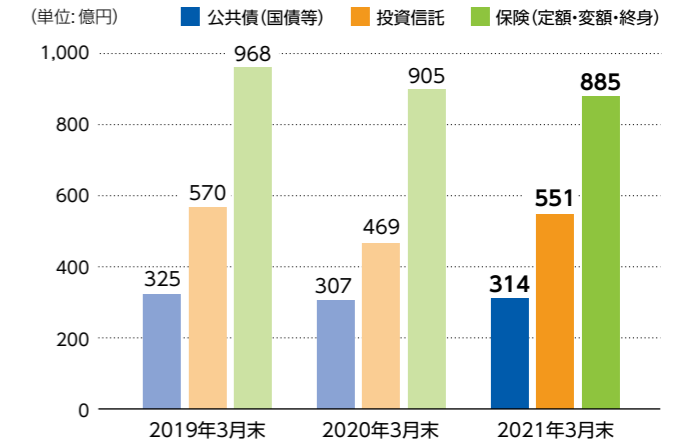
■ 預金等残高・預り資産残高

預金等



譲渡性預金を含む預金等は、法人・個人・公金が増加したことから、全体で期中2,862億円増加し期末残高は2兆7,837億円となりました。

預り資産

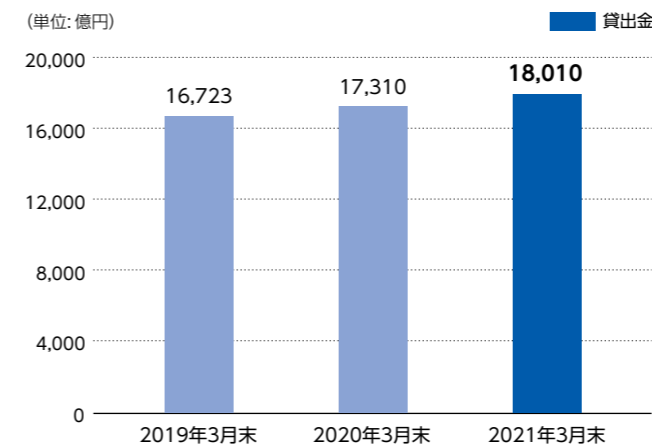


公共債(国債等)は、期中7億円増加し期末残高は314億円となりました。投資信託は、期中82億円増加し期末残高は551億円となりました。保険(定額・変額・終身)は、期中20億円減少し期末残高は885億円となりました。

公共債(国債等): 額面ベース 投資信託: 純資産残高ベース(口数×基準価額+1万口)
 保険(定額・変額・終身): 払込保険料の合計額

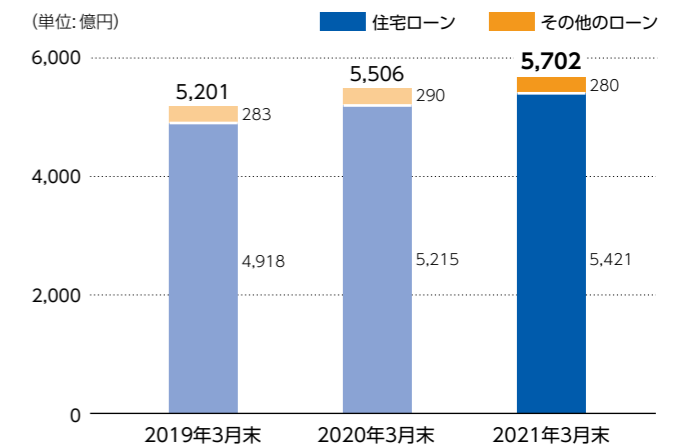
■ 貸出金残高・消費者ローン残高

貸出金



貸出金は、消費者ローンを含む中小企業等向け貸出金が増加したことから、期中700億円増加し期末残高は1兆8,010億円となりました。

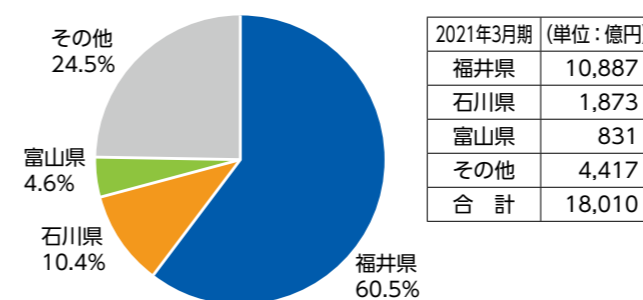
消費者ローン



消費者ローンは、期中196億円増加して期末残高は5,702億円となりました。うち住宅ローンは、期中206億円増加して期末残高は5,421億円となりました。

■ 貸出金の地域別内訳・中小企業等向け貸出金

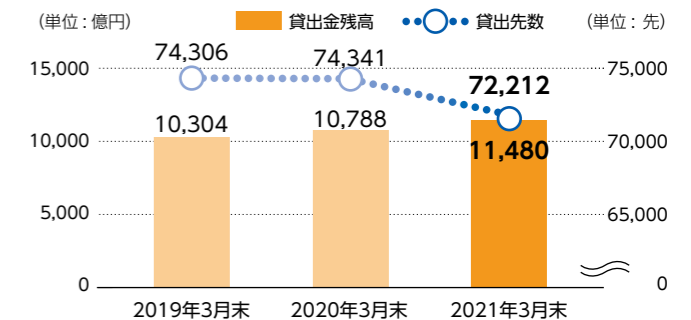
貸出金残高の地域別内訳



2021年3月期 (単位: 億円)	
福井県	10,887
石川県	1,873
富山県	831
その他	4,417
合計	18,010

北陸3県内での貸出金は1兆3,591億円(うち福井県内10,887億円)であり、貸出金全体の75.5%(うち福井県内60.5%)となっております。







中小企業等向け貸出金








中小企業等向け貸出金残高は期中692億円増加し1兆1,480億円となり、総貸出金残高の63.7%となりました。また、貸出先は、期中2,129先減少し72,212先となりました。

非財務ハイライト

人財




<p>健康経営優良法人2021</p>  <p>2021年3月に「健康経営優良法人2021」(大規模法人部門)に認定されました。</p>	<p>健康診断受診率</p>  <p>99.89%</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により受診対象者1,809名のうち2名が受診できませんでした。</p>	<p>敷地内禁煙の実施</p>  <p>2019年4月1日より当行グループが管理する事業所敷地内、営業車内での禁煙を実施しております。</p>
<p>プラチナくるみん認定取得</p>  <p>2017年8月よりプラチナくるみんを認定取得しております。</p>	<p>管理職の女性比率 ※代理職含む</p>  <p>21.8%</p> <p>(2021年3月31日現在)</p>	<p>育児休業取得者率</p>  <p>男女とも 100%</p> <p>(2019年4月～2020年3月対象者)</p>

<p>平均勤続年数</p>  <p>男性 18年3か月</p>  <p>女性 14年2か月</p> <p>(2021年3月31日現在) ※20代～30代の職員の割合は47.8%です。</p>		<p>障害者雇用率</p>  <p>2.37%</p> <p>(2021年3月31日現在)</p>
<p>1人あたりの時間外労働時間数 ※管理監督者は除く</p>  <p>年間 78時間08分</p>		<p>1か月平均</p>  <p>6時間30分</p> <p>(2020年4月～2021年3月)</p>

社会貢献活動

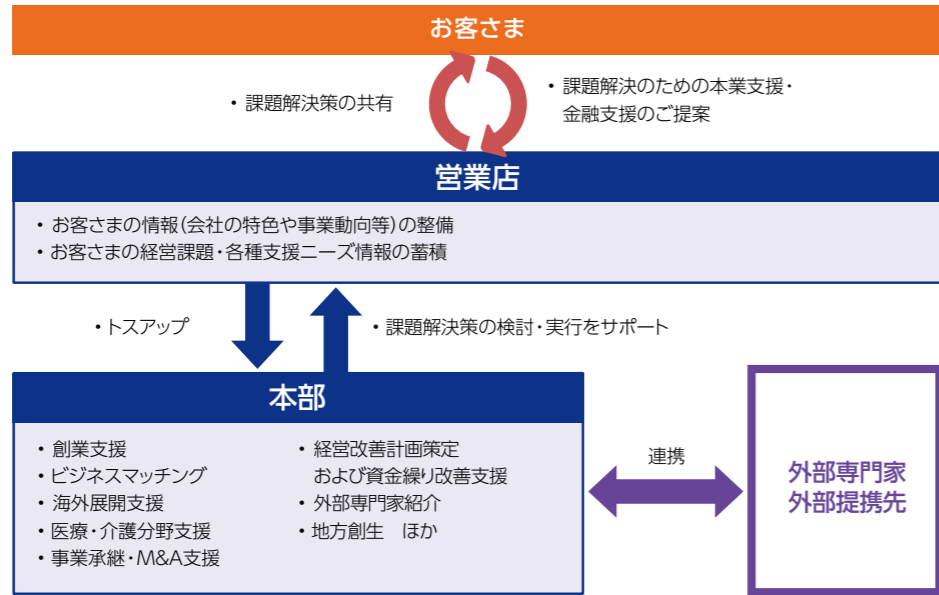
<p>金融経済教育受講者数</p>  <p>727名</p> <p>(2020年4月～2021年3月)</p>	<p>特殊詐欺未然防止件数</p>  <p>17件</p> <p>(2020年4月～2021年3月)</p>	<p>『認知症サポーター』養成講座受講者数</p>  <p>420名</p>
---	--	--

コーポレート・ガバナンス

<p>『サービス・ケア・アテンダント』資格取得者数</p>  <p>131名</p> <p>(2012年9月～2021年3月)</p>	<p>『ユニバーサルマナー検定3級』認定者数</p>  <p>331名</p>	<p>社外取締役の取締役会出席率</p>  <p>97.7%</p> <p>(2020年4月～2021年3月)</p>
---	---	---

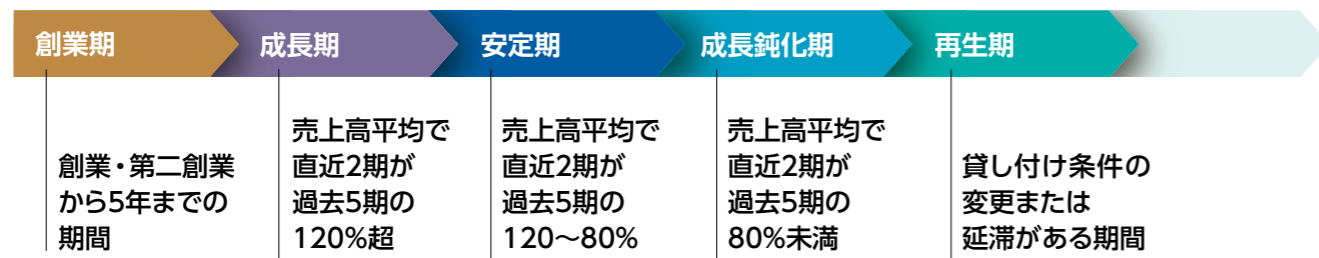
法人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮

企業理念「地域産業の育成・発展」の実現に向け、当行は、お客さまとの日々のリレーション強化を通じ、ビジネスモデルの深掘りから経営課題や事業ニーズの把握に取り組んでおります。お客さまの経営課題を営業店と本部が共有・連携し、課題解決のための最適な本業支援、金融支援に努めております。



▶ ライフステージ別支援

お客さま個々の状況に応じた最適なコンサルティングを目指し、事業性理解への取り組み方針に基づくライフステージ別支援を継続的に進めております。



▶ 創業・新事業開拓支援

創業期のお客さまには、専用融資商品の導入、グループ会社や外部機関との連携、セミナー開催を通じた情報提供などにより、支援の強化に取り組んでおります。

「創業応援サービスパック」

当行グループおよび業務提携先のサービスをパッケージ化した「創業応援サービスパック」を取り扱っております。創業期よりお役に立てただけの商品・サービスを優遇特典つきでパッケージ化し、会計・決済業務や店舗設備などの様々なニーズに対し、ワンストップでサポートいたします。

日本政策金融公庫との創業支援スキーム「W-ing」

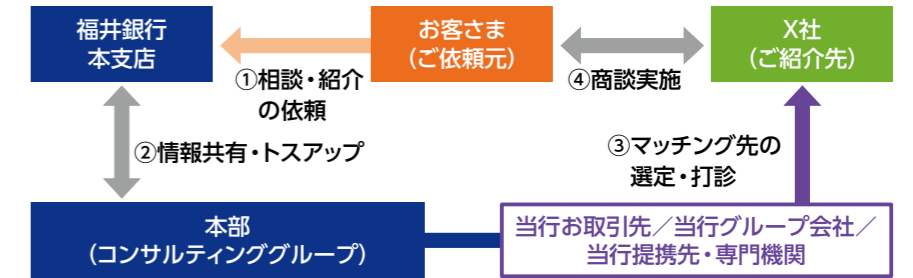
日本政策金融公庫福井支店・武生支店と連携して、福井県内の創業者を対象とした協調支援スキーム「W-ing(ウイング)」を創設しました。創業をお考えのお客さまの相談にワンストップで応じ、事業計画の策定から資金支援までを協調して行い、創業後も事業成長に向けたフォローアップを継続して行います。

▶ 成長支援

成長期、安定期、成長鈍化期のお客さまには、国内外の商談会やセミナーの開催を通じたビジネスマッチングの機会や情報の提供、グループ会社や外部機関とのネットワークを活用したビジネスソリューションの提供、専門担当部署の帯同訪問や情報提供による海外ビジネスサポートなどにより、支援の強化に取り組んでおります。

ビジネスマッチング・商談会開催による販路開拓

本部コンサルティンググループの専門担当者が、お客さまのニーズに対し最適なマッチング先を選定し、ご紹介から商談成立まで営業店と一体となってサポートしております。



● 主なマッチング例

販売・仕入	新たな販売/仕入チャネルのご紹介など
コスト削減・合理化	社内システムの効率化・諸経費削減ニーズに対し、ソリューションパートナーのご紹介など
生産・技術・販売などの業務提携	新製品・新技術開発パートナーのご紹介など
事業多角化	新規事業進出ニーズに対し、FC展開・代理店などパートナー企業のご紹介など
物流効率化	物流アウトソーシング、特徴ある物流業者のご紹介など

事例のご紹介

情報発信「Realize～わたしの創業ストーリー～」

当行ホームページおよびFacebookに、当行の支援により創業されたお客さまの体験談を掲載しています。創業をお考えのお客さまへの情報提供や、販路拡大支援に取り組んでおります。



ギンチョ Ginchiyo (福井市大手町)

十勝のおつまみとワインのお店「Ginchiyo (ギンチョ)」が、福井市大手町にオープンしました。ソムリエが厳選したワインと、チーズ、生ハム、じゃがいもなど北海道十勝地方の食材を使ったおつまみを楽しめるワインバーです。

Q1 創業しようと思われたきっかけは何ですか？

これまでの飲食業での勤務経験から、自分自身のスタイルでお客さまをどこまで喜ばせることができるかチャレンジしたいと思っていました。そして、これまで関わっていただいた多くの方々に恩返しをしたいという思いでこの店を創りました。

Q2 創業までに苦労されたことは何ですか？

また、その際役立った福井銀行のサポートがあれば教えてください。

創業の手続きやお金のことが全くわからなかったことや創業資金の融資を受けられるかなどとても心配でした。銀行の担当の方に、お店を創るために必要なことを丁寧に教えていただき、1つ1つクリアしていくことで、自分の夢を実現することができました。

Q3 今後の夢・目標は何ですか？

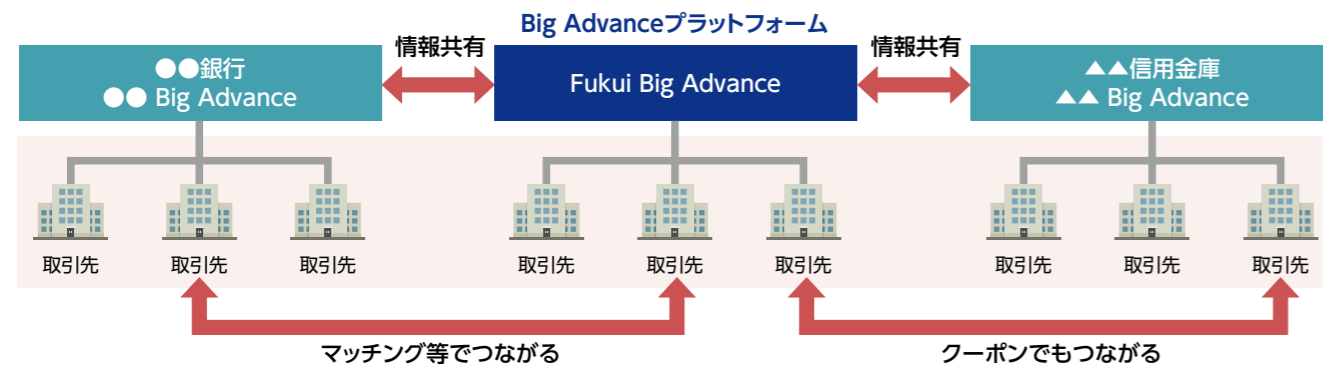
たくさんの方々の助力があっただけ大切なお店なので、今度は自分がお客さまにいただいたお客さまを思いやり、お客さまの活力になれるようなお店づくりをしていきたいと考えています。

● 地域企業の成長支援プラットフォームサービス[Fukui Big Advance]

「Fukui Big Advance」は全国の金融機関が連携し地域の中小企業の成長を支援する会員制のプラットフォームサービスです。金融機関の枠を超えた全国規模のビジネスマッチングから自社ホームページ作成、従業員さま向けの福利厚生サービスまで多様なコンテンツを提供し、販路拡大や業務効率化などお客さまが抱える経営課題にワンストップでお応えするサービスです。当行担当者が、本サービスをお客さまとともに活用していくことにより、お客さまに寄り添った支援を実現してまいります。

主なサービス

<p>広域ビジネスマッチング機能</p> <p>参加金融機関が連携し、地域を超えたビジネスマッチングを実現します</p>	<p>集客支援(クーポンサイト)</p> <p>地域特化型のクーポンサイト「FUKURI」にクーポンを掲載できます</p>	<p>福利厚生サービス(FUKURI)</p> <p>従業員アカウントを配布することで、クーポンサイト「FUKURI」が利用できます</p>
<p>補助金・助成金情報</p> <p>全国の補助金・助成金情報を検索し、専門家に申請の依頼をすることができます</p>	<p>ホームページ作成</p> <p>スマートフォンに対応したホームページが簡単に作成できます</p>	<p>士業相談サービス</p> <p>連携サービスの専門家が法務、労務などのお悩みにお答えします</p>



事例のご紹介

マッチング支援 Big Advanceを活用したマッチング

Fukui Big Advanceの活用による『営業活動量確保』と『複数の販売先獲得』



優れた金属加工の技術を持ち、近年は県外のお客さまへの販売を軸とし、業容拡大を行ってきたA社。コロナ禍に伴い、他県への移動や対面営業の自粛ムードがありながらも、継続した県外への販路開拓は成長戦略において欠かせないものでした。低下傾向にあった「営業活動量の確保」と「非対面営業への部分的な転換」が課題となったA社に対し、当行はFukui Big Advanceを提案。A社はワンクリックで全国の会員にアプローチができる営業効率性と、オンライン上での商談を金融機関がサポートする点に魅力を感じ、当サービスのご利用を決定されました。サービスの利用に際して、当行では本部と営業店担当者が一丸となって、確度の高いターゲティング法の考案や非対面でもA社の魅力が伝わる提案文作成のサポートをし、多くのお客さまに商談申込みをいたしました。その結果、A社はこれまで単独では営業を行っていないエリアに複数の新規顧客を獲得されました。また多くのお客さまに提案を行うことで得られた商品改良の糸口を、現在の商品開発に結び付けており、さらなる商品技術の向上が見込まれております。

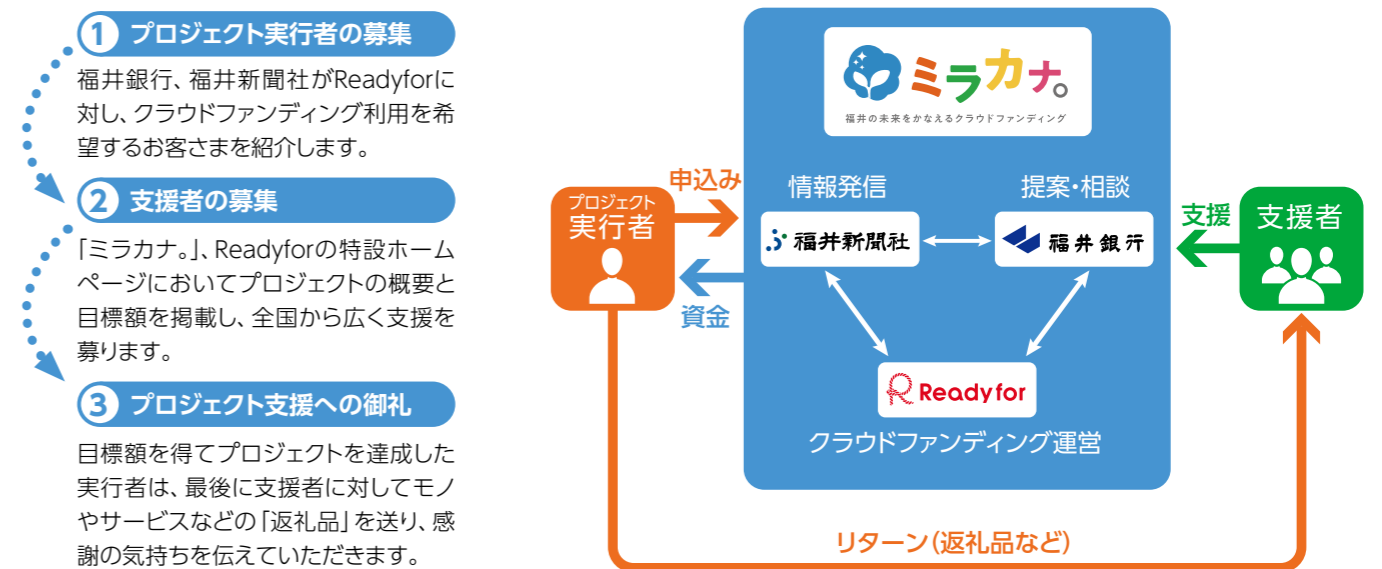
インターネットの活用

● クラウドファンディング「ミラカナ。」

株式会社福井新聞社およびREADYFOR株式会社と連携し、福井県に特化したクラウドファンディングサービス「福井の未来をかなえるクラウドファンディング『ミラカナ。』」を取り扱っています。『ミラカナ。』は、「全国の“やさしいお金”を福井へ」をテーマに、福井県内におけるクラウドファンディング利用の活性化を図るプラットフォームです。2021年6月には福邦銀行も加わり4社体制になり、より強力にお客さまの夢の実現、成長機会の創出に寄与してまいります。

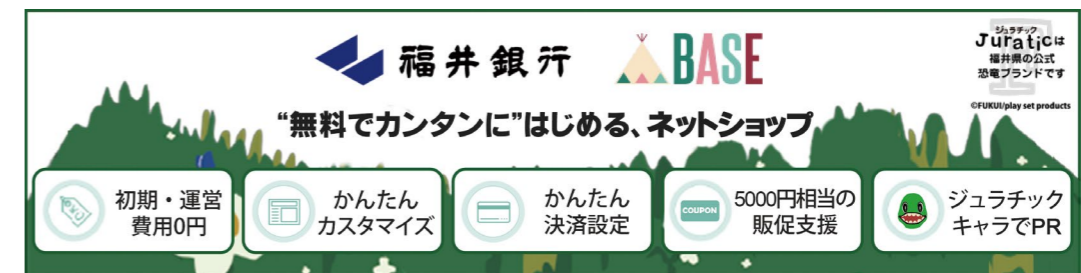
「ミラカナ。」のスキーム

「ミラカナ。」は、Readyforのクラウドファンディング事業に関するコンサルティングサービスに、福井銀行の顧客サポート、福井新聞社のWeb、紙面を通じた情報発信を加えることで、お客さまのクラウドファンディングプロジェクトの達成を力強く支援します。








● ネットショップ開設支援「BASE(ベース)」

「BASE(ベース)」は、ものづくりを行う個人、ビジネスを展開する法人、地方自治体をはじめとする行政に幅広くご利用いただいているネットショップ作成サービスです。これまで「BASE」で開設されたネットショップ数は150万店舗を超えています。国内最大級のショップ開設数を誇る「BASE」と、地域活性化に取り組む「福井銀行」が連携し、ネットショップを活用した販路拡大を支援します。



海外ビジネスサポート

県内企業のグローバル化が進むなか、経済成長を続ける中国、東南アジアを中心とする海外市場の取り込みが重要な課題となっています。当行は、海外駐在経験を有する専門担当が海外拠点と連携し、海外での事業拡大に向けた幅広い支援に取り組んでおります。

	サポート1 最新の情報を提供	進出先の最新の動向のほか、現地における各種法規制などの情報を提供します。
	サポート2 販路拡大・調達先の開拓	ビジネスマッチングやセミナー・商談会の開催により、販売先や調達先の開拓をサポートします。
	サポート3 貿易（輸出入）のサポート	輸出入実務や会計・税務・財務に関するアドバイスのほか、為替リスクヘッジ商品のご提案を行います。
	サポート4 海外ファイナンスのサポート	手軽に外国送金や為替予約等の手続きができる外為WEBサービスの提供や、提携銀行を通じた外貨建て融資を行います。
	サポート5 海外人材確保・育成	海外に精通した人材の採用や、外国人留学生の採用・育成をサポートします。

● 販路拡大・調達先拡大

お客さまの海外での販路拡大、調達先の多様化等のニーズにお応えするため、セミナー・相談会開催による海外ビジネスに関する最新情報の提供や、ビジネスマッチングによるビジネスパートナーの紹介に積極的に取り組んでおります。

「越境ECを活用した中国における福井県産品販路拡大事業」を受託

当行グループ会社の福井キャピタル&コンサルティングが福井県産品「越境EC」を活用した中国における福井県産品販路拡大事業を受託しております。中国の越境ECアプリ「豌豆公主（ワンドウ）」内に福井県産品を集約した「福井館」を開設し、お客さまの中国市場への販路開拓を支援しております。

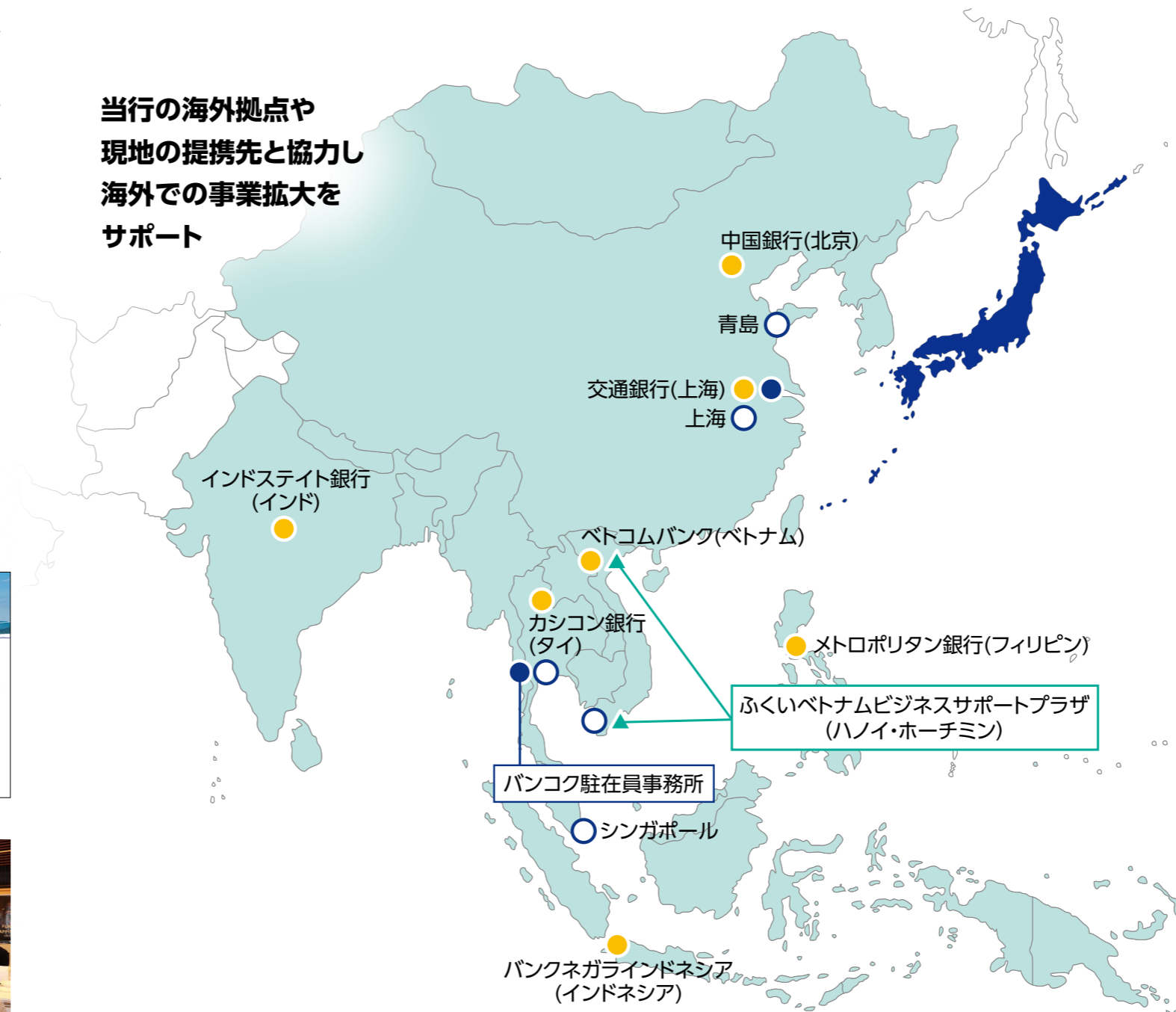


商談会の開催

海外に関心のあるお客さま、海外取引が初めてのお客さまに海外取引の機会を設けることで、海外バイヤーに福井県の魅力的な商品を知っていただき、福井県産品の販路拡大につなげる機会を提供しております。



当行の海外拠点や 現地の提携先と協力し 海外での事業拡大を サポート



- 海外拠点
- 海外提携銀行
- 行員派遣実績有り
- ▲ サポートサービス

● 海外人材採用・人材育成

海外での事業展開には、各国の事情に精通した優秀なスタッフを確保することが欠かせません。当行は、各団体や大学と連携し、外国人留学生の採用や育成に向けたサポートを行っております。

● 福井銀行の海外ネットワーク



バンコク駐在員事務所

日本からの派遣行員、現地スタッフが駐在し、お客さまのニーズに的確かつ迅速にお応えしてまいります。






経験豊富な人材

海外駐在経験のあるスタッフや現地事情をよく知る外国人スタッフが、全力でサポートいたします。近年では、中国人スタッフを採用し、様々なお客さまのニーズにお応えするとともに、めまぐるしく変化する世界の状況に応じたビジネス戦略をサポートしてまいります。

行員派遣実績 4か国 25名

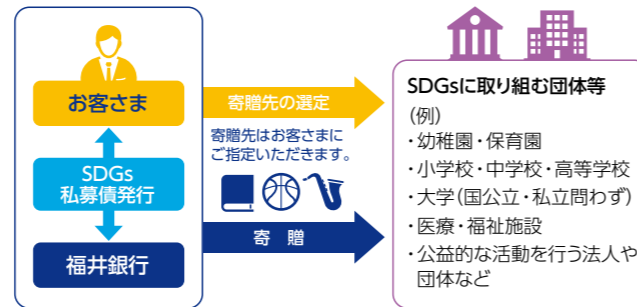
リース活用サポート

当行グループ会社である福銀リースと連携し、リースを活用した設備導入・入替を支援しております。お客さまの設備投資に対して、銀行融資とリース商品の一体的な提案を行うことでお客さまの資金調達手段の多様化や、設備管理にかかる事務の合理化につながる支援を実施しております。

- 
メリット1 初期負担の軽減
 設備投資による初期負担をリースにより平準化することで、導入時の資金負担が軽減されます。
- 
メリット2 資金調達の多様化
 金融機関からの借入による購入も、リースも、物件を使用するという点では全く変わりありません。リース利用によって、実質上設備投資について借入したのと同じ効果が得られます。しかも金融機関からの借入枠は温存されることになり、資金調達力に余裕ができます。
- 
メリット3 コストの把握
 リース料の支払は通常、毎月一定額ですので、コスト意識を高めることができます。
- 
メリット4 事務の合理化
 リースを利用することにより、減価償却計算、固定資産税の申告納付、損害保険の付保管理、資産処分手続きが省略でき、管理事務の合理化が図れます。
- 
メリット5 金利変動リスクの回避
 リース料は期間中固定ですので、金利変動リスクが回避されます。

SDGs私募債

国連が提唱する持続可能な開発目標SDGsの趣旨に賛同し、目標達成へ貢献したいとする企業さまのニーズに応えることを目的に、「ふくぎんSDGs私募債」を取り扱っています。SDGs私募債を発行する企業さまから受け取る手数料の一部（発行金額の0.2%相当）を活用し、企業さまが希望されるSDGsの達成に重要な役割を担う組織や団体に対して書籍などの物品を寄贈するものであり、企業さまの資金調達とSDGsに対する活動を同時に支援する商品です。



事例のご紹介

SDGs活動支援 ふくぎんSDGs私募債

「ふくぎんSDGs私募債」を発行された企業さまとともに地域社会の課題解決に貢献してまいります。

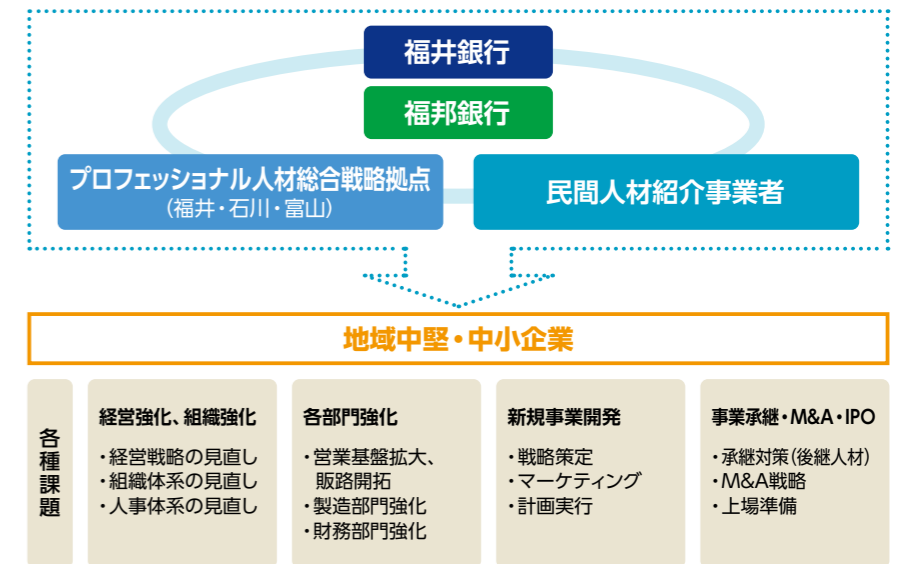
ふくぎんSDGs私募債発行企業さまのご紹介(寄贈の様子・実施日順)



人材発掘・人材育成支援

近年、地域企業の人材不足が進行しており、福井県内においても人材に関する経営課題が多様化しています。これまでニーズが多かった一般職層に加え、経営幹部等のハイレベル人材ニーズや、副業・兼業といった長期雇用に限らない人材ニーズも増加しています。

当行は、福邦銀行とともに「有料職業紹介事業」へ参入しております。人材紹介業務を通じて、お客さまの経営課題の解決、持続的成長を支援することで、地域経済の活性化に貢献してまいります。



● 先導的人材マッチング事業の採択

当行は福邦銀行とともに、内閣府が実施する地方創生支援事業（先導的人材マッチング事業）の間接補助事業者として共同採択されております。両行は「ふくいプロフェッショナル人材総合戦略拠点」への人材派出を行い、地域における人材支援基盤の強化を図っております。

● セミナーや研修による人材育成支援

すべての企業が直面する人材育成の課題に対し、グループ会社である福井キャピタル&コンサルティング、民間人材事業者と連携し、社員の方それぞれの立場や状況に応じた育成支援メニューを取り揃えております。

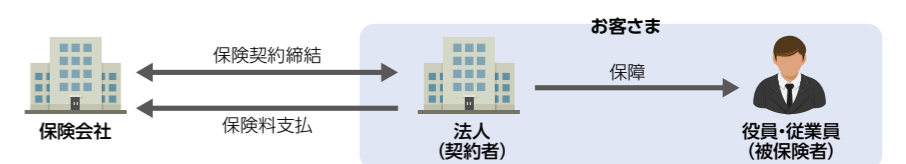


法人保険

お客さまの事業を継続する上での様々なリスクに備えるため、当行の専門担当がお客さまのライフステージや経営環境に寄り添った法人保険のトータルプランニングを行っております。

法人保険とは役員や従業員を被保険者とし、法人が契約する生命保険です。

※法令などの定めにより、当行でご融資を受けられている（お手続き中を含む）お客さまには、お取扱いができません。くわしくはお取引店にご相談ください。
 ※当行は、「保険募集指針」に則って適切な保険募集を行います。当行の保険募集指針はホームページよりご確認いただけます。



法人保険には2つの機能があり、法人の各種リスクに備えることができます。

- ① キーパーソン不在による事業継続リスク ⇒ 死亡保険金など**
 - 売上減少に伴う固定費支払資金（人件費・仕入代金・地代など）
 - 借入金返済資金
 - 死亡退職金、弔慰金準備資金
 - 相続・事業承継対策資金
- ② 事業活動上の財務リスク ⇒ 解約返戻金など**
 - 役員・従業員の退職金準備
 - 設備投資資金の準備
 - 緊急資金(突発的な資金調達)
 - 経営上発生する突発的な損失に対する備え

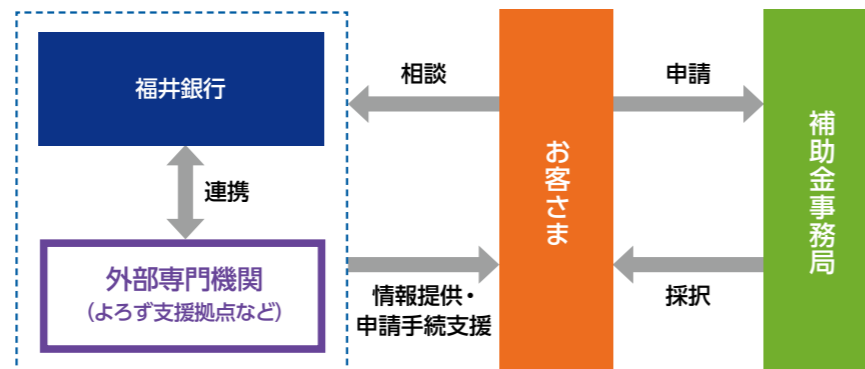
医療・介護分野サポート

医療の高度化や制度改革、少子高齢化など、医療・介護分野を取り巻く環境の変化に対応するため、本部コンサルティングチームに専門担当者を配置し、お客さまの事業継続のための様々な課題解決を通して、地域の医療・介護サービスの充実・発展に取り組んでおります。

補助金・助成金活用サポート

当行は、「よろず支援拠点」などの外部専門機関と連携し、お客さまの事業の成長に向けて、ニーズにあった補助金・助成金に関する情報提供から申請手続きまでトータルで支援しております。

※補助金は申請から採択・受領までタイムラグがあります。当行は、補助金を受領するまでの期間のつなぎ資金のご融資も対応しております。



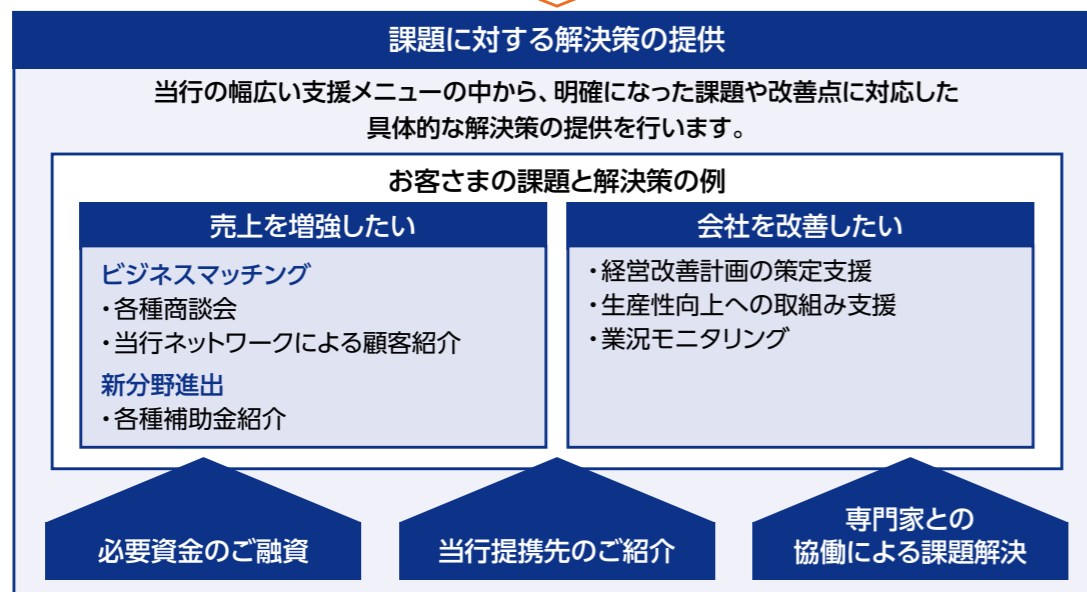
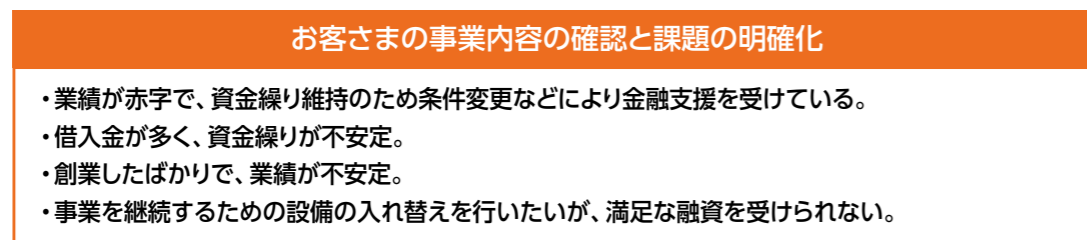
経営改善支援

成長鈍化期や再生期のお客さまの事業継続を実現するため、事業性理解による経営課題の明確化や解決策の提供に取り組んでおります。

経営改善コンサルティング

経営改善に向けた計画策定から達成のためのフォローまで当行の専門担当者がトータルサポートいたします。

また、中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構 (REVIC) などの外部支援機関を活用し、お客さまに最適な経営改善策の提供や事業再生に取り組んでおります。



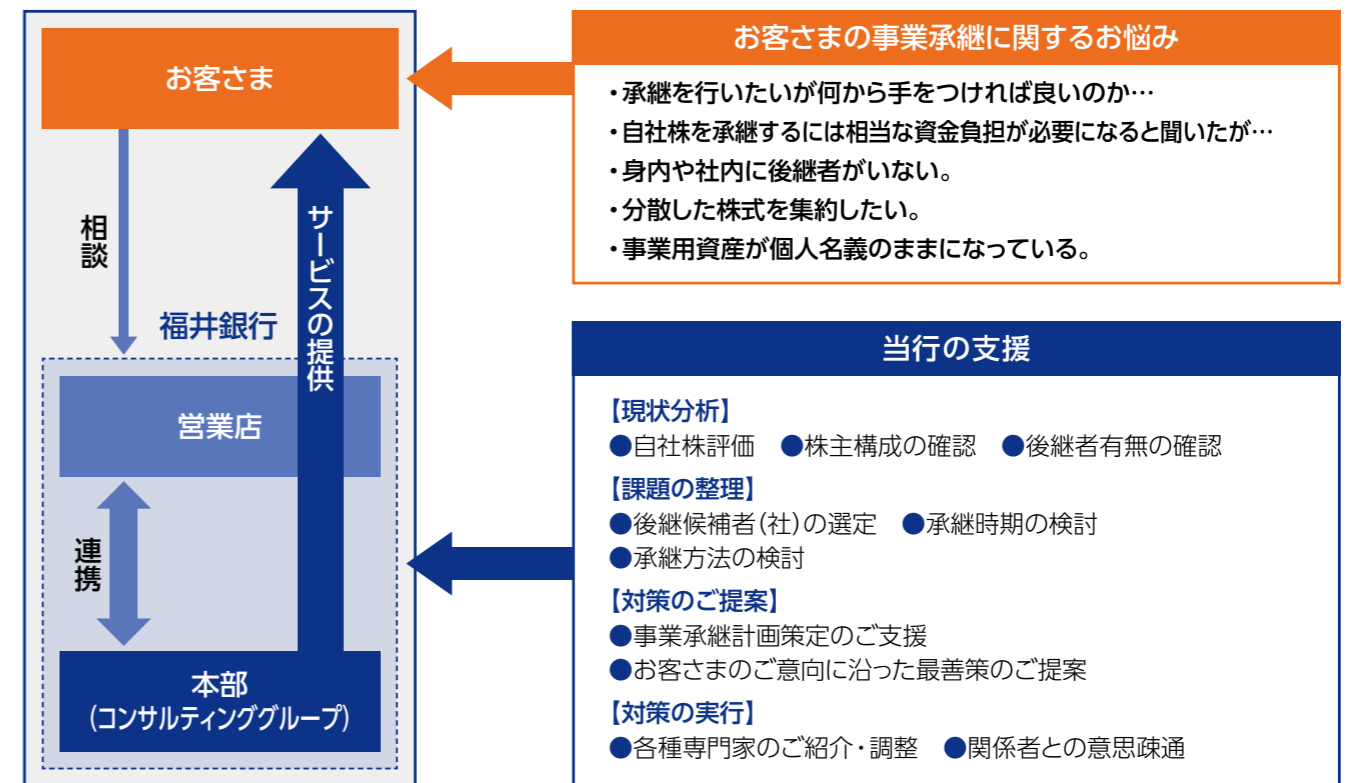
事業承継支援

お客さまの持続的な発展・存続や円滑な承継を実現するため、後継者問題等の課題や事業拡大ニーズを有する取引先企業に対して、様々なノウハウを集約した本部の専門担当部署が中心となり、事業承継支援 (自社株評価や株式承継対策を含めた実行支援) の強化をすすめてまいります。

事業承継コンサルティング

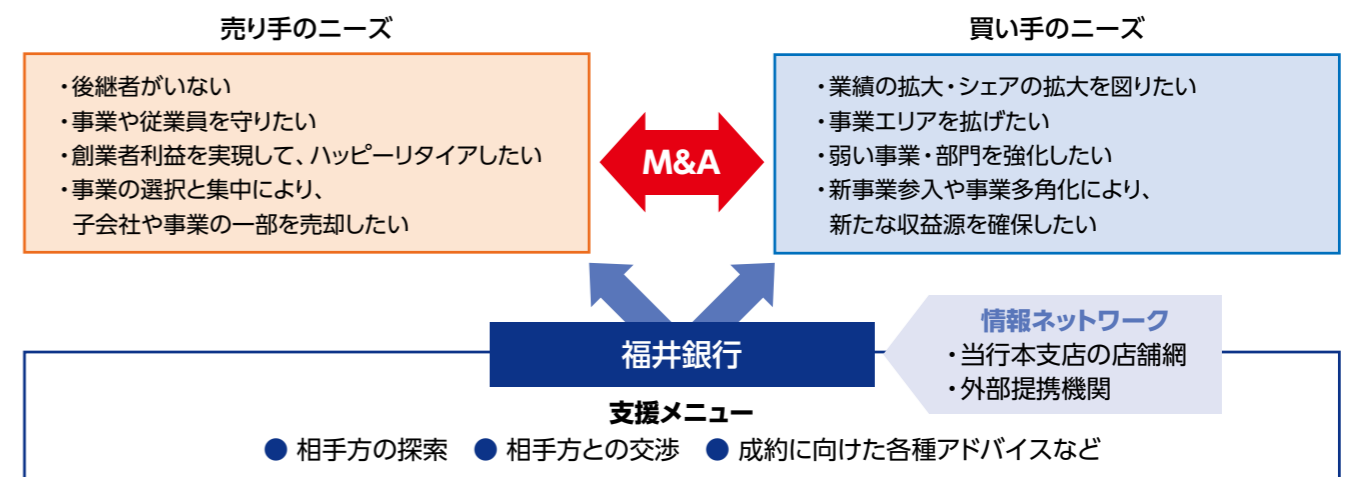
会社の「事業(経営)」と「自社株式」を円滑に「後継者」へ引き継ぐ事業承継は、会社が持続的に発展するための重要な課題です。当行はお客さまの円滑な事業承継を全力でサポートいたします。

(イメージ)事業承継支援の流れ



M&Aコンサルティング

M&Aで解決できる経営課題は多岐にわたります。当行が持つノウハウやネットワークを活かしながら、事業の発展につながるM&Aの活用を提案しサポートいたします。



個人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮

企業理念「地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」に向け、当行は「お客さま本位の基本方針」を掲げ、お客さまのライフステージをふまえたニーズ・課題を理解し、最適な商品・サービスの提供に努めております。

	資産形成					セカンドライフ	
	就職	結婚	出産	マイホーム	お子さまの進学	退職	相続
かきる				●マイカーローン ●カードローン ●フリーローン	●住宅ローン ●リフォームローン	●教育ローン	
そなえる		●医療・がん保険 ●個人年金保険（平準払） ●iDeCo（個人型確定拠出年金）					
ふやす のこす			●投資信託 ●つみたて倶楽部（投資信託自動積立サービス） ●つみたてワンダ4（外貨普通預金自動積立サービス）	●ジュニアNISA	●個人年金保険（一時払） ●終身保険（一時払） ●遺言信託・遺産整理業務		

キャンペーンの実施と商品ラインアップの充実

お客さまのライフステージにおける様々なニーズに対応した、キャンペーンの実施や商品ラインアップの充実により、お客さまの課題解決支援に取り組んでおります。

2020年度中に実施したキャンペーン

2月～5月	iicaJCB・JURACA入会・利用キャンペーン
4月～9月	Visaデビット入会キャンペーン
2月～5月	マイカーローン「カットビくん」「カットビくんR」キャンペーン
2月～9月	春の新生活応援・学生応援キャンペーン
5月～6月	JURACA「おうちdeレストラン」キャンペーン
6月～2月	ほけんプラザ「保障の確認・ご相談」キャンペーン
6月～3月	投資信託キャンペーン
6月～3月	「ふくぎんデビュー」キャンペーン
7月～9月	iicaJCB・JURACA入会・利用キャンペーン
10月～3月	Visaデビット入会キャンペーン
10月～4月	教育ローンキャンペーン
11月～1月	JURACA入会キャンペーン
2月～12月	「ふくぎんWeb口座」開設・切替えキャンペーン

拠点の充実

●店舗機能の充実

当行は、2020年度に3店舗の新築移転を実施し、店舗機能の充実と営業体制の強化に努めてまいりました。一つの店舗建物内に複数の店舗を集約する「店舗内店舗」の体制をとることで、2拠点の人員・機能をより効率よく配分し、より充実した営業体制を実現することができました。

●専門窓口の充実

「ふくぎんプラザ」「ほけんプラザ」では、住宅資金相談、教育資金相談、保障の確認など、お客さまのライフステージに応じて生じる様々な不安や悩みを、より高度な専門知識・経験を有する行員が解決し、お客さまのさらなる成長、資産形成をお手伝いするトータルコンサルティングを行っております。

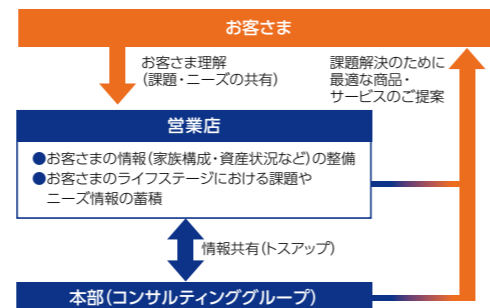


セカンドライフ層へのサポート体制の充実

お客さまに豊かなセカンドライフを過ごしていただくために、営業店・本部が一体となって、お客さまの様々な悩みやニーズに最適な解決策のご提案に取り組んでおります。

●相続ニーズへの対応

高齢化社会が進行し、相続・贈与に関するニーズが高まっております。当行は相続・贈与における様々な悩みに寄り添いお応えするため、本部コンサルティンググループに専門担当者を配置し、お客さまに最適な相続関連サービスをご提供（お取次ぎ）いたします。



●財産承継コンサルティングサービス「未来のコンパス」

お客さまの円滑な財産の承継をお手伝いするために、財産承継コンサルティングサービス「未来のコンパス」を取り扱っております。本サービスは、家族構成や財産状況の確認など、様々な角度から現状を把握したうえで、具体的な財産承継対策のご提案、実行、さらにはその後の対策見直しまで長期にわたりご支援させていただきます。

利便性向上に向けた商品・サービス

パソコンやスマートフォンを活用したサービスの拡充によるお客さまの利便性向上に取り組んでおります。

●福井銀行アプリ

「いつでも」「どこでも」「簡単に」普通預金残高や入出金明細をご確認いただけます。また、現在行っているキャンペーンなどのオトクな情報を発信しております。



福井銀行アプリのダウンロードはこちら



※普通預金のキャッシュカードをお持ちの方がご利用できます。

●インターネットバンキング「ふくぎんネット」

口座の残高や入出金明細照会、振替・振込、投資信託や外貨預金のお取引など様々なサービスがインターネットでいつでもご利用いただけるサービスです。



利用できる主なサービス

振込	振替
定期預金	積立定期
ローン	資産運用



ふくぎんネットのお申込みはこちら



●口座開設アプリ

スマートフォンで、インターネット支店（ジュラチック王国支店）の口座開設のお手続きが、ご来店不要で簡単にできます。

〈ジュラチック王国支店〉

2017年3月に開設した、当行のインターネット支店です。実際の店舗を持たず、「アプリ」「インターネットバンキング」「ATM(キャッシュカード)」でお取引いただけます。



キャッシュレス社会への対応

当行は、福井県におけるキャッシュレス社会の構築に向け、様々な取組みを進めております。

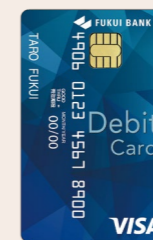
JURACA

2種類の電子マネーと、福井ならではのサービスを提供する多機能型カードです。地元企業との連携を強化し、JURACAの提示により、様々な割引や優待サービスを受けられるお店が拡大しております。



ふくぎんVisaデビットカード

お買い物をしたらすぐに預金口座から引き落としされ、現金のようにご利用いただけるカードです。口座残高の範囲内でのご利用のため、使いすぎることがなく、安心してご利用いただけます。



BP Bank Pay

銀行口座をお持ちの方が使える安心・安全なスマートフォン決済サービスです。専用のBankPayアプリをダウンロードしていただければ契約加盟店でスマートフォンだけで簡単にお支払いができます。その上アプリのダウンロードからご利用まで、すべて無料でご利用いただけます。このサービスは全国の金融機関が参加表明しており拡大中です。

地域のみなさまへ～まちづくりへの参画～

▶ まち・ひと・しごと創生に向けた取組み

地方公共団体・地元支援機関・地元大学と密に情報交換を行うなど、産学官連携による地域資源の有効活用および地域経済の活性化に向けて積極的に取り組んでおります。

地方公共団体との協定締結

当行と各地方公共団体が連携し、相互的人的・知的資源の活用を図り、協働による事業活動を展開することで、「まち・ひと・しごと」の創生と地域経済の持続的好循環の確立を目指すことを目的に、地方公共団体と連携協定を締結しています。今後も地方公共団体との連携を強化し、積極的な関与・協力を通じて地域経済の活性化に貢献してまいります。

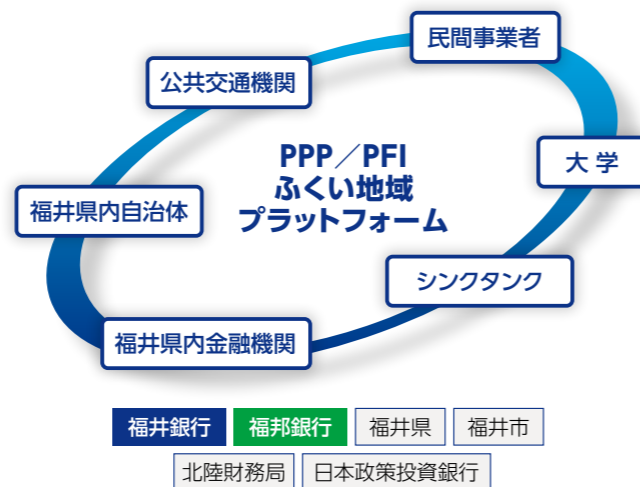
PPP/PFIふくい地域プラットフォーム

2016年12月、官民連携による地域活性化について考えるふくい地域プラットフォームを設立。2020年4月、Fプロジェクトの一環として事務局に福邦銀行を追加。財務省北陸財務局、日本政策投資銀行、福井県、福井市とともに開催しております。地域において「効率的かつ効果的な公的施設等の整備や、高速交通開通に伴う各事業のより円滑な実施などに向け戦略的なPPP/PFIの活用推進を通じた民間における新たな事業機会創出や民間投資喚起等による地域活性化の実現」などを進める活動をしております。



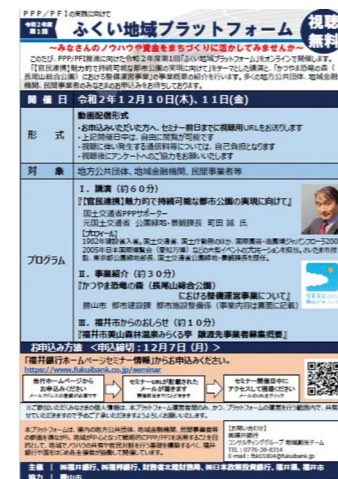
協定締結先一覧

時期	地方公共団体
2015年度	越前市、福井市、勝山市、大野市、小浜市、敦賀市、美浜町
2016年度	永平寺町、坂井市、福井県、高浜町
2017年度	鯖江市、あわら市、越前町、南越前町



● ふくい地域プラットフォームの開催

2020年度「第1回ふくい地域プラットフォーム」は新型コロナウイルス感染対策のため、完全オンライン（YouTubeオンデマンド配信）にて開催。「【官民連携】魅力的で持続可能な都市公園の実現に向けて」をテーマとした講演と「かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）における整備運営事業について」の事業紹介を実施しました。



あわら市との連携事業「駅西口エリア活用促進協議会」

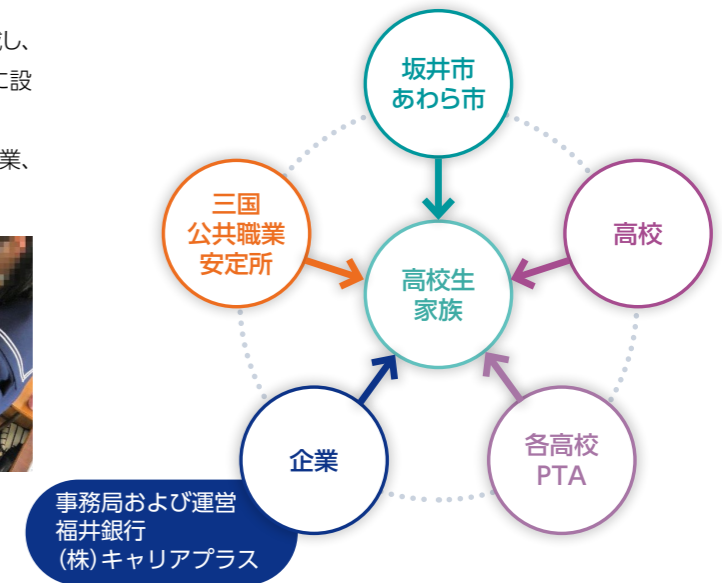
当行では、北陸新幹線敦賀延伸に向けた地域の価値向上を図るため、まちづくりに対し積極的な参画を行っております。今般、あわら市を舞台に官民一体となった「まちづくり協議会」の運営事務をあわら市より受託し、地域住民・あわら市と連携を図りながら、当行が持つ企業さまとのネットワークを活用し、ホテル事業者の進出のお手伝いをさせていただきました。今後も県全域において、まちの賑わい創出に向けた活動を地域と一体となって行ってまいります。



あわら市・潤観光開発(株)様による協定締結式(2020年9月)

あわら坂井ふるさと創造推進協議会

坂井市・あわら市の両市の高校生等に対するふるさとへの愛着を醸成し、交流・定住人口の増加につながる活動を推進することを目的に設立いたしました。両市ならびに、両市内に所在する高等学校およびPTA、地域企業、三国公共職業安定所等と連携し活動しています。



福井駅西口再開発の事務局支援

2016年6月にユアーズホテルフクイ周辺の地権者を中心とした協議会が発足。以降、当行は事務局運営をサポートしております。再開発事業は、準備組合を経て2020年1月に再開発組合が設立。ホテル運営者としてコートヤード・バイ・マリオットの進出が決定、現在は再開発ビル開業に向けた工事が進められています。今後も2024年の北陸新幹線敦賀延伸に向けたまちづくりを支援してまいります。

地域のみなさまへ ～地域社会との共生～

▶ 環境への取組み

環境問題への積極的な取組みは、企業が社会的な責任を果たすうえで重要な経営課題の一つとなっています。福井銀行は、企業理念「地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」のもと、環境に配慮した事業展開や環境・景観形成活動を通して、豊かな自然環境の保全に努めております。

環境に優しい店舗づくり

店舗のロビーやATMコーナー、外灯へのLED照明の採用や、省エネ型空調設備への更新など、環境に優しい店舗づくりに努めています。



環境や地域社会と調和した本店ビル

2020年12月にグランドオープンした本店ビルでは、調光式LED照明、Low-e複層ガラスなどの先進的な省エネ技術の導入や、外周・テラスの緑化、外装に縦型ルーバーと庇を設置し眺望を確保しつつ日射を遮断するなど、環境に配慮しております。また、地域の方々に集っていただける「お客さま空間」には、伝統産業である越前和紙や県産資材を多用し、環境や地域社会と調和した建物となっております。



■自然光を利用した照明

2Fのトップライトから差し込む光をテキスタイルオブジェで柔らかくし、1Fロビー、2Fオープンスペースを明るく照らす工夫をしています。

■庇、ルーバーによる日射遮蔽

外装に縦型ルーバーと庇を設置したことで、眺望を確保しつつ日射を遮断しています。

■1F外周、3Fテラス緑化

1F外周、3Fテラスを緑化し、うるおいを創出しヒートアイランド現象を緩和しています。

■省エネ型エアコン、節水機器採用

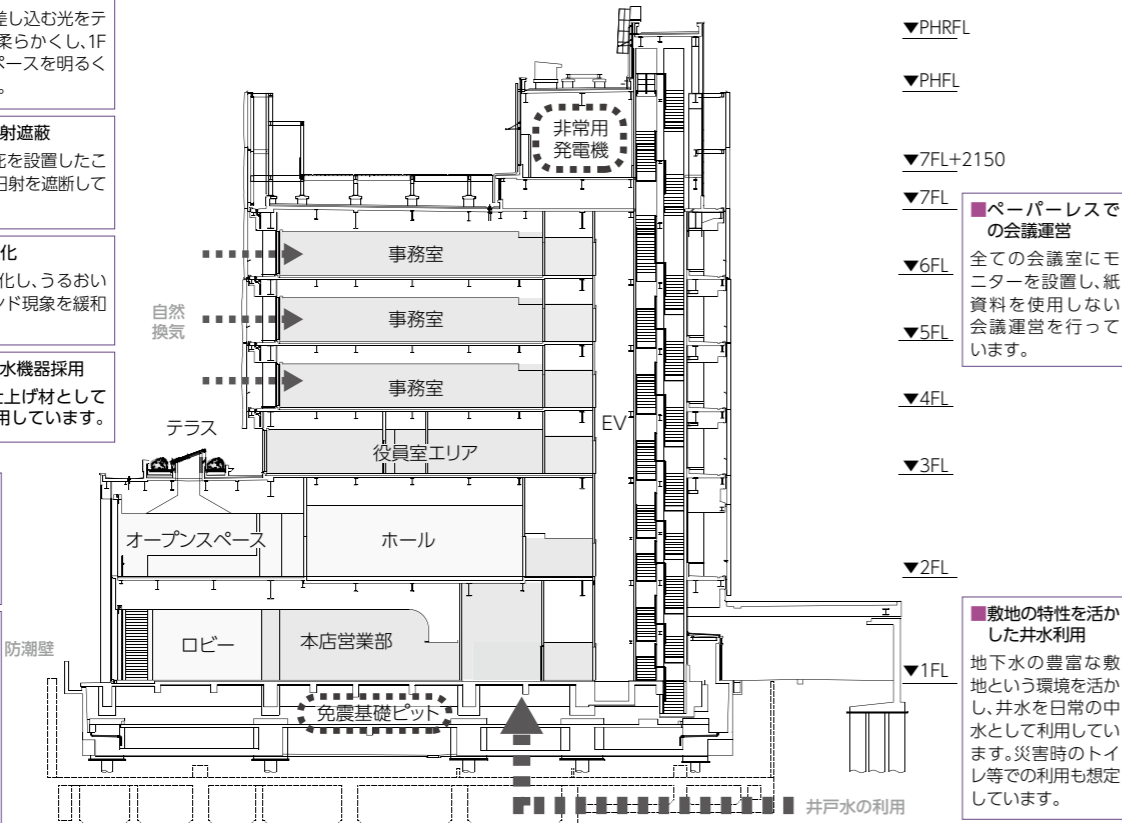
1F、2F、3Fは、壁の仕上げ材として福井県産の杉材を使用しています。

■建物の高断熱化

断熱性の高いLow-e複層ガラスを採用し、窓面からの空調負荷の低減を図っています。

■調光式LED照明

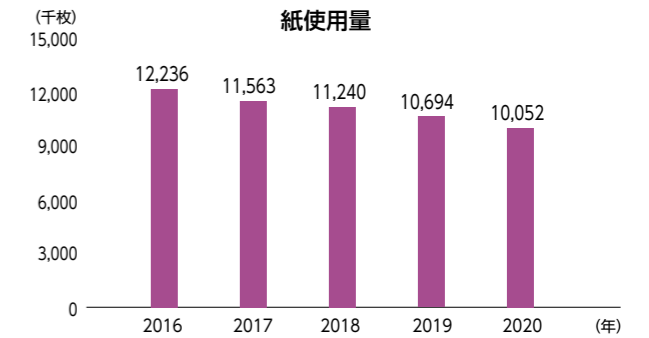
執務室には、外部の明るさに応じて調光する照明を採用しています。また本店ビル全体の照明をLED照明とすることで、長寿命化、高効率化など省エネを図っています。



ペーパーレスへの取組み

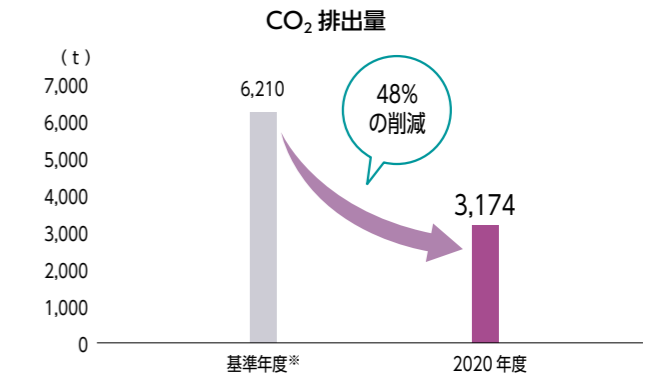
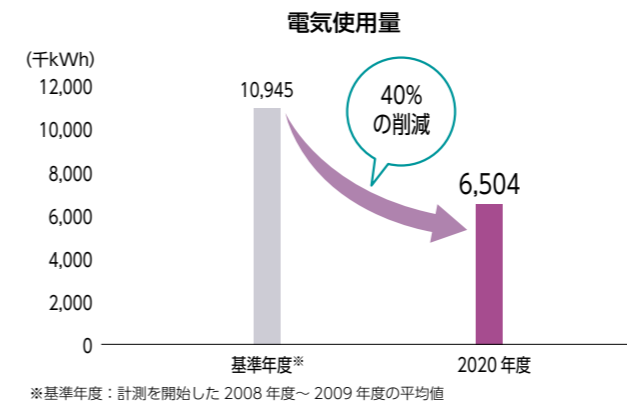
個人ローン申込みや預り資産申込み受付のタブレット化、紙の通帳を発行しない「Web口座」やインターネット専用支店「ジュラチック王国支店」のご提供、電子協議システムの導入などにより、業務の迅速化や生産性の向上を図るとともに、紙使用量の削減に取り組んでおります。

また、本店ビルではすべての会議室、ミーティングスペースにモニターとホワイトボードを設置し、紙資料を使用しない会議運営を徹底しております。



電気使用量・CO₂排出量の削減

地球温暖化防止のために、本部・営業店・グループ会社の全部署にて室温を適正温度に設定し、電気使用量とCO₂排出量の削減に取り組んでおります。



紙類のリサイクル

事業活動により生じた不要紙類は、資源ゴミとして提携会社に持ち込み、再生紙の原料として加工され、トイレトーパーやティッシューパーとしてリサイクルされております。



▶ お客さま満足への取り組み

福井銀行では、全職員が「地域のお客さまのライフステージに応じて、常にご満足いただける解決策を提供する」ことを実践していくことが必要であり、また、解決策の提供を通じて、お客さまとの間で確固たる信頼関係を構築していくことが重要であると考えております。

店舗

すべてのお客さまに安心してご来店いただけるように、店舗のバリアフリー化を進めております。また、個室型の受付窓口や、相談ブースの充実を図り、お客さまが気軽に、落ち着いてご相談いただける店舗づくりに努めています。



移動店舗車「ふくぎんKuruza(クルーザー)」

店舗の空白地域には、窓口設備とATMを搭載した移動店舗車「ふくぎんKuruza(クルーザー)」が巡回し、店舗と同様の窓口機能をご提供しています。車両には発電機や無線通信機器・衛星通信機器を搭載しており、万一自然災害が発生した場合にも機動的に金融サービスの提供が可能です。



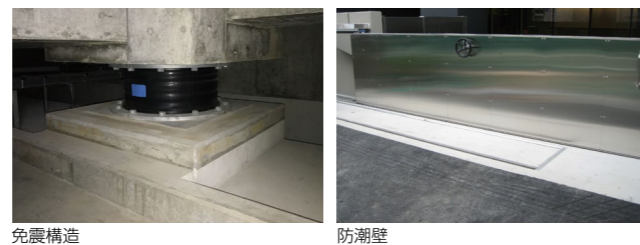
新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策

お客さまに安心してご利用いただくために、職員の手指の消毒、マスクの着用、受付窓口へのアクリル板の設置やATMへの抗ウイルスシートの貼付など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しております。



業務継続態勢

本店ビルの建物には基礎免震構造を採用し、非常用発電機や防潮壁を導入しており、災害発生時にも重要な業務を継続できるよう備えております。



免震構造

防潮壁

サービス・ケア・アテンダントの導入

ご利用いただく様々なお客さまへの接遇サービスの向上につなげる取り組みとして、当行ではサービス・ケア・アテンダント資格を131名が取得。お客さまが安心してご利用いただけるように、身につけたスキルを活かし、CS店頭調査員として助言・進言を行っております。

認知症サポーター養成

認知症に対する理解を深め、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる地域社会を作ることには地域金融機関としての役割だと考え、営業店やエリア単位で「認知症サポーター養成講座」を受講し、サポーターの養成に取り組んでおります。



特殊詐欺への対応

全国的に、高齢のお客さまからカードを騙し取る「カード手交型詐欺」や「カードすり替え詐欺」が多発しております。このような「特殊詐欺」からお客さまの大切なご預金をお守りするため、80歳以上のお客さまのATMでの当行カードによる預金のお引出し限度額を20万円に引き下げました。

また、お客さまが特殊詐欺に遭わないように、アンケートをお願いしております。お客さまとの会話を通じて、特殊詐欺の未然防止の態勢をとっております。



対話取引システムを使用した窓口

窓口では、行員がナビゲーションに従ってお客さまのご依頼内容を端末機に入力することにより、お客さまに伝票を記入いただくことなく、「お預入れ」や「お引出し」などのお手続きをしております。

ユニバーサルマナー検定

すべてのお客さまに対し適切で均一なサービスをご提供する取り組みの一環として、福井銀行グループの役職員(役員・営業店の全支店長・新入行員)331名が一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会が運営する資格制度「ユニバーサルマナー検定3級」の認定を受けております。

コミュニケーションボード・指差しボード・筆談ボードの設置

話し言葉や文字によるコミュニケーションに不安のあるお客さまや、聴覚に障がいをお持ちのお客さまにも、安心してご相談やお取引いただけるよう、コミュニケーションボード・指差しボード・筆談ボードを全営業店に設置しております。また、タブレット端末にも取り込むことで、訪問先でも利用しております。



バリアフリー表示証

福井県の取り組みである「バリアフリー表示証制度」の基準をクリアした店舗において、「バリアフリー表示証*」を掲示しています。



※バリアフリー表示証：利用者に優しい施設であることをお客さまにわかりやすく伝えるため、その施設のバリアフリー状況を絵記号で表示したものです。



▶ 福井の魅力向上に向けた取り組み

ふくジェンヌ



福井県の観光活性化を目的に、2015年に福井県観光活性化プロジェクトチーム「ふくジェンヌ」を結成しました。2016年から毎年オリジナルガイドブックを作成し、2021年3月までにvol.1～6を発刊。2017年9月からInstagramでの情報発信を開始し、2021年3月までに450件の投稿を行いました。



ひろちゃんが行く! ふくい食巡り

「食を通じた地域活性化を目的に、2016年2月にフェイスブックページ「ひろちゃんが行く! ふくい食巡り」を開設しました。福井県の代表的な食材、福井県外で認知度の低い食材、福井県民も知らない逸品など、食に関する情報発信をしています。福井の事業者さまの「未来へのチャンス」創出をお手伝いしています。



カフェ&ライブラリー

2020年12月に新築オープンした本店ビルには、地域のみなさまにご利用いただけるカフェ&ライブラリーを設けております。金融の枠を超え、「まちの賑わい創出」と「地域のお客さまの豊かな生活の実現」をお手伝いしてまいります。



おもてなし宣言291

2024年の北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、県内の61の店舗とふくジェンヌが「おもてなし宣言291」を宣言しました。「福井に来てよかった」「また来たい」と思っただけのように、オール福井で観光客のみなさまを温かく迎えます。



▶ 地域やお客さまに対する積極的な情報発信

地域やお客さまのお役に立つ情報やノウハウを、各種セミナーやホームページ・SNSを通じて発信してまいります。

セミナー開催による情報提供

お客さまのライフステージに応じたセミナーを開催し、当行のノウハウを活かした各種情報の提供に取り組んでおります。

● ふくぎんフレッシューズセミナー

新社会人になられた方を対象として、「ふくぎんフレッシューズセミナー」を開催しております。2012年からスタートし、これまでにのべ5,233名の新社会人のみなさまにご参加いただきました。

※2020年4月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

● 資産運用セミナー

お客さまの資産運用ニーズにお応えし、資産形成のお手伝いをさせていただくための情報提供の場として「資産運用セミナー」を開催しております。WEB会議システムを通して全体的に行うものや、「マネーカフェセミナー」と題して少人数でリラックスしてご参加いただけるものまで、お客さまのニーズに応じたテーマ・内容で開催しております。



● 家族信託セミナー

認知症や高度障害で意思判断能力が低下すると、「自分の財産が自分のために活用できなくなる」という大きなリスクが生じます。このリスクへの対策として「信託」が注目を集め始めています。新時代の財産管理・承継の仕組みである「信託」をお客さまにわかりやすく解説するセミナーを開催しました。

● SDGsセミナー

福井県内の事業者さま向けに、「SDGsセミナー」を開催しました。SDGsは世界共通のゴールと認識され、ビジネス業界でも関心が高まってきています。お客さまの持続可能な事業活動につなげていくことを目的とし、SDGsの概要から中小企業の取組事例やビジネスチャンス拡大の可能性について、わかりやすくお伝えしました。

「福井県内企業景気動向調査」の実施

四半期毎に「福井県内企業景気動向調査」を実施し公表しております。福井県内企業のみなさまにアンケート調査を行うことにより、景気動向（県内企業の現在の経営環境や今後の見通し）について情報提供いただき、共有することで、福井県内企業のみなさまの経営に役立てていただくことを目的としております。

調査結果につきましては、当行のホームページよりご確認ください。

情報誌「福銀ジャーナル」の発刊

地域の経済情報やトピックス・統計資料、「福井県内企業景気動向調査」の結果などを盛り込んだ「福銀ジャーナル」を四半期毎に発刊し、情報発信に努めております。



SNSを活用した情報発信



福井銀行

キャンペーンやセミナー、イベントなどの情報や福井銀行をもっと便利におトクにつかっていたりする方法などお客さまに役立つ情報をお届けします。



ひろちゃんが行く! ふくい食巡り

福井県の代表的な食材、福井県外に認知度の低い食材、福井県民も知らない隠れた逸品、福井の匠の技が生み出す食器、食に関する文化、観光に関する情報を継続して発信しています。



福井銀行

ふくちゃんがおトクな情報や便利なサービスのご案内など、うれしい情報をお届けします。



ふくジェンヌのいこっさ! 福井

福井県観光活性化プロジェクトチーム「ふくジェンヌ」が、福井県のグルメ、絶景、季節の見どころなどをお届けします。ガイドブックには載っていない旬な情報も!



福井銀行

福井銀行のテレビCMなどの動画をご覧ください。



▶ 地域やお客さまと一体となった取り組み

「ふくいSDGsパートナーシップ会議」への参加

福井県独自のSDGs活動コンセプト「未来のために。～次の世代に選ばれる福井へ～」に賛同し、SDGsパートナー会議に参加しております。

SDGsへの取り組みは当行の企業理念そのものです。ふくいSDGsパートナーとして、「持続可能な地域・社会」の実現に貢献してまいります。



考福塾

福井県内の企業・団体で働く若者の中から、次世代のリーダーを育成することを目的とした「考福塾」を開催しております。2013年からスタートし、本年度塾生34名を含め、これまで350名が受講しました。

福井で生まれ、福井に育てられた地域金融機関として福井を永続的に発展させていくことは当行に課せられた責務であり、多くの若者と一緒に考え、語り合い、未来の福井と日本を担う人材の輩出につなげてまいります。



金融経済教育

教育機関への講師派遣による金融経済講座の開催や、職場見学、当行職員との座談会等による金融知識の普及、啓蒙活動を通して、地域の未来を担う人材の育成のお手伝いに取り組んでおります。また、SDGsの浸透に向けた講義も行っております。



つなぐ図書バトン・紡ぐ読書の輪

高校生が県内の経営者におすすめ本のインタビューを行う企画を実施しております。愛読書や人生のバイブルとなる本などから見える経営者としての哲学や生き方に触れ、今後の人生に役立ててほしいと考えております。



地域防災への取り組み

地域の自主防災組織連絡協議会と、災害時における協力協定を締結しました。災害時には、本店ビルの2階ホールを地域のみなさまの一時避難場所としてご提供いたします。



▶ ノーマライゼーションへの取り組み

社会福祉法人かすみが丘学園

社会福祉法人かすみが丘学園（坂井市丸岡町）は、「ノーマライゼーション」を目指し、福井県内では初めての18歳以上の知的障がいを持った方々の施設として、昭和41年6月に開園しました。福井銀行市橋督頭取（当時）が、昭和40年9月に設立準備委員会の民間代表委員となり、学園の設立後には初代理事長に就任いたしました。以降現在に至るまで、役職員の派遣といった人的サポートを継続し、学園の運営に関わってまいりました。今後も福井銀行は、地域社会に生まれ、地域とともに歩む地域金融機関として、ともに生きる社会をより良いものにしていく取り組みを継続してまいります。



公益財団法人福井銀行教育福祉財団による助成事業

公益財団法人「福井銀行教育福祉財団」は、当行の役員職員で構成していた「保堂会」という任意団体から、当行の創立100周年を契機として2000年3月に一般財団法人「保堂会教育福祉財団」に移行し、その後、2013年10月に公益財団法人への移行と同時に現在の名称に変更いたしました。当行の創立者である市橋保治郎の創業理念と報恩感謝の精神を引き継ぎ広めていくために、青少年育成の場である学校教育に対する助成活動と社会福祉団体等に対する助成活動を設立以来実施しております。

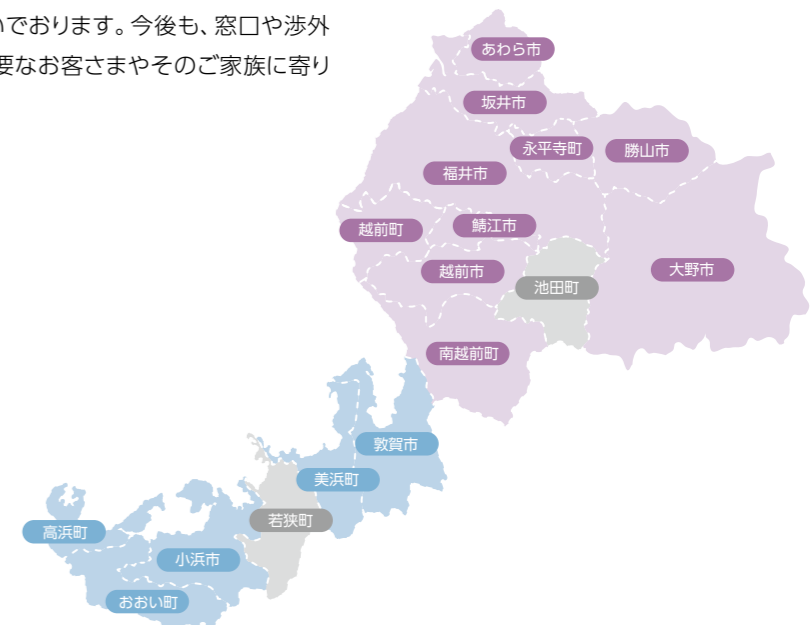


見守り活動への参加

地域金融機関として「地域に暮らす人々の豊かな生活」を実現すべく、福井県内の営業店のある15市町との提携やネットワークをつないでおります。今後も、窓口や渉外活動を通し地域の見守りを行うとともに、支援が必要なお客さまやそのご家族に寄り添った対応に努めてまいります。

提携・ネットワークを結んだ先 (15市町、16団体)

地公体	名称
福井市	福井市あんしん見守りネットワーク
永平寺町	永平寺町徘徊高齢者等SOSネットワーク
鯖江市	鯖江市地域見守り活動に関する協定
越前町	徘徊高齢者等SOSネットワーク
越前市	地域包括協定
南越前町	南越前町高齢者地域見守りネットワーク
大野市	越前おおの結の見守り活動に関する協定
勝山市	地域見守り活動協力に関する協定
坂井市	坂井市高齢者等徘徊SOSネットワーク
あわら市	あわら市安心生活ネットワーク事業
敦賀市	敦賀市地域見守り活動の協力に関する協定 敦賀市見守りネットワーク
美浜町	美浜町認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク
小浜市	小浜市地域見守り活動協力に関する協定
おおい町	おおい町高齢者等見守りネットワーク
高浜町	地域見守り協定



2020年度助成実績

学校教育団体 25校	5,042千円
社会福祉団体 12法人	1,899千円
合計 37団体	6,941千円

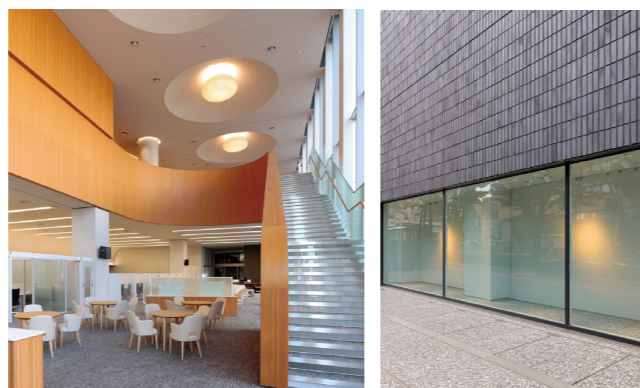
2000年からの
累計額 171,038千円

▶ 歴史・文化振興への取り組み

地域社会の一員として、地域行事やボランティア活動への積極的な参加を通して地域の文化やスポーツの振興を図り、地域社会の活性化に努めております。

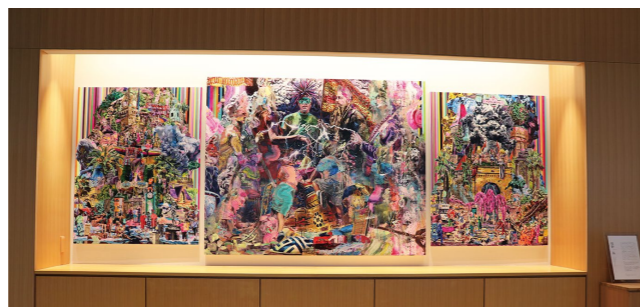
県産資材の魅力を発信する本店ビル

本店ビルでは、越前和紙、越前黒杉をふんだんに使用しております。また、一部には笏谷石、越前瓦などを使用し、福井県の伝統産業や県産の資材の魅力を発信・体験できる場としております。



本店ビルギャラリー

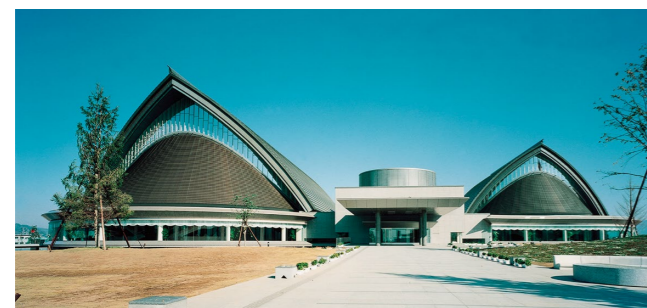
本店ビル1Fのエントランスや3Fの会議スペースには、福井県にゆかりのある若手アーティストの作品を展示するギャラリーを設けております。本店ビルを訪れる多くのお客さまにご覧いただき、若手アーティストの作品が一般の方の目に触れる機会が少ないという課題を解決するとともに、福井県の文化創造に貢献しております。



ハーモニーホールふくい

福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」の特別協賛会員として、地域の音楽文化の醸成に貢献しております。

「福井ユナイテッド」「福井丸岡RUCK」を応援しています
地域のみなさまとともに、夢や楽しみを与えてくれる地元スポーツチームを支援し、スポーツによる地域の活性化に貢献しております。



「想い鶴」募金活動プロジェクトへの参加

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、地域の中学生在が企画した、医療従事者へ感謝の気持ちを伝えるための「想い鶴」募金活動プロジェクトに参加し、福井銀行グループの全役職員が想いを込めて折った15,000羽の想い鶴をお届けしました。



ロビー展の開催

各営業店では、地元の産業や文化・歴史の紹介や地域のお客さまの趣味を生かした作品展など様々なロビー展を開催しております。



デザイン・アート作品展



フラワークラフト展



越前がに展



観光ポスター展



秋の絵 園児絵画展



書道展



新春書初め展



竹細工展



南越前町写真展



白山写真展



福井県・越前若狭戦国名所紹介(船場博覧会)



名田庄展

コーポレート・ガバナンス

役員



取締役兼代表執行役頭取
林 正博

2015年6月
取締役兼代表執行役頭取



取締役兼代表執行役専務
湯浅 徹

2021年6月
取締役兼代表執行役専務 企画本部長



取締役兼代表執行役専務
長谷川 英一

2021年6月
取締役兼代表執行役専務 企画本部長



取締役兼常務執行役
渡辺 統

2021年3月
取締役兼常務執行役 ALM本部長
リスク統括グループマネージャー



取締役兼常務執行役
佐竹 範之

2021年6月
取締役兼常務執行役 営業支援本部長



取締役
吉田 正武

2021年6月
取締役



取締役(社外)
内上 和博

2014年6月
福井銀行取締役

<重要な兼務の状況>
弁護士



取締役(社外)
南保 勝

2015年6月
福井銀行取締役

<重要な兼務の状況>
公立大学法人福井県立大学地域経済研究所長・
教授、博士(経済学)
フクビ化学工業株式会社社外取締役



取締役(社外)
三屋 裕子

2018年6月
福井銀行取締役

<重要な兼務の状況>
公益財団法人日本バスケットボール協会代表理事
株式会社SORA代表取締役
ENEOSホールディングス株式会社社外取締役
株式会社デンソー社外取締役
公益財団法人日本オリンピック委員会副会長



執行役
岡田 伸

2021年3月
執行役 ALM副本部長
市場金融グループマネージャー



執行役
吉田 啓介

2021年6月
執行役 本店エリア統括店長兼
本店営業部長



執行役
澤田 祥人

2021年6月
執行役 営業支援副本部長
融資支援グループマネージャー



執行役
小林 義史

2021年6月
執行役
コンサルティンググループマネージャー

コーポレート・ガバナンス体制一覧

組織形態	指名委員会等設置会社	
取締役の人数	9名(うち社外取締役3名)	
取締役の任期	1年(社外取締役も同様)	
取締役会	構成	9名(うち社外取締役3名)
	2020年度開催数	15回
経営会議	構成	10名
	2020年度開催数	66回
指名委員会	委員長	社外取締役
	構成	3名(うち社外取締役2名)
	2020年度開催数	3回
報酬委員会	委員長	社外取締役
	構成	3名(うち社外取締役2名)
	2020年度開催数	3回
監査委員会	委員長	社外取締役
	構成	3名(うち社外取締役2名)
	2020年度開催数	14回

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当行は、2007年6月より組織形態を「委員会設置会社(現在の指名委員会等設置会社)」に移行し、その特徴である「業務執行と監督の分離によるガバナンス態勢の強化」「業務執行の決定権限の委任による業務執行のスピードアップ」「社外取締役が過半数を占める三委員会の設置による経営の透明性向上(当行では三委員会とも社外取締役が委員長を務めております)」を実現するとともに、次の基本的な考え方に沿って、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでおります。

- 当行は、株主のみなさまの権利を尊重するとともに、株主のみなさまの平等性の確保に努めます。
- 当行は、株主のみなさまを含むステークホルダーの利益を考慮するとともに、ステークホルダーとの適切な協働に努めます。
- 当行は、非財務情報を含む会社情報を適切に開示するとともに、その会社情報の透明性の確保に努めます。
- 当行は、独立社外取締役が中心的な役割を担う体制を構築するとともに、その体制を活かして、取締役会による業務執行の監督機能の実効性向上に努めます。
- 当行は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けて、株主のみなさまとの建設的な対話の実施に努めます。

指名委員会等設置会社

業務執行と監督の分離によるガバナンス態勢の強化

取締役会については、取締役9名で構成されており、経営方針などの重要事項の決定、取締役会が選任した執行役等の職務の執行の監督を行います。このうち社外取締役は3名選任されております。

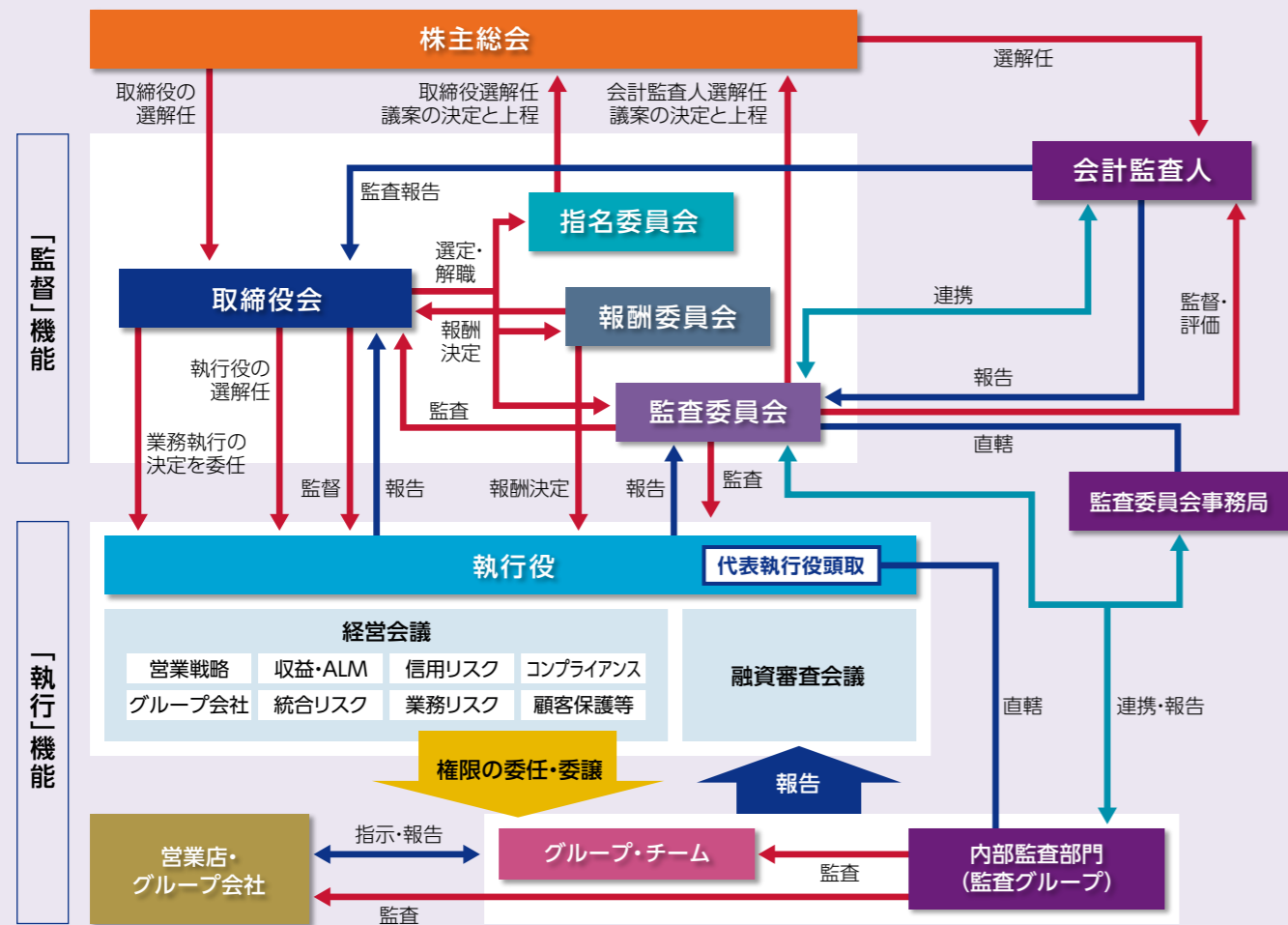
業務執行の決定権限の委任による業務執行のスピードアップ

取締役会は執行役を選任し、執行役は取締役会から委任を受けた事項についての業務執行の決定および業務の執行を行っております。このうち、重要事項については、執行役の合議による決議機関である各種会議で決定されます。取締役会から執行役に業務執行の決定権限が大幅に委任されることにより、迅速な業務執行が可能となっております。

社外取締役が過半数を占める三委員会の設置による経営の透明性向上

法令に基づき、指名委員会、報酬委員会、監査委員会を設置しております。これら三委員会は、それぞれ3名の取締役から構成されておりますが、いずれの委員会においても、弁護士や博士(経済学)、企業経営者として高い専門性を有する社外取締役が過半数を占め、かつ委員長を務めており、経営の透明性が一層図られております。

コーポレート・ガバナンス体制の概要



取締役会

取締役9名(男性8名・女性1名)、うち社外取締役3名(男性2名、女性1名)により構成されており、取締役会の開催・決議方法・付議基準等を定めた取締役会規程に従い、経営上の重要事項に係る意思決定と執行状況の監督機能が十分に確保できるよう適切な運営を行っております。特に、社外取締役については、独立した立場から高い監督機能の発揮を求めています。

三委員会

	主な役割
指名委員会	取締役3名(うち社外取締役2名、委員長は社外取締役)により構成され、指名委員会規程に従い、株主総会に提出する取締役の選任・解任に関する議案の内容等を決議しております。2020年度は3回開催しております。
報酬委員会	取締役3名(うち社外取締役2名、委員長は社外取締役)により構成され、報酬委員会規程に従い、取締役および執行役が受ける個人別の報酬等の内容の決定に関する方針並びに個人別の報酬等の内容を決議しております。2020年度は3回開催しております。
監査委員会	取締役3名(うち社外取締役2名、委員長は社外取締役)により構成され、監査委員会規程に従い、監査の方針、監査計画、株主総会に提出する会計監査人の選解任議案等の事項について決議しております。2020年度は14回開催しております。

社外取締役の役割や機能

当行は、指名委員会等設置会社として、指名委員会、報酬委員会、監査委員会の三委員会を設置しており、各委員会の構成員は社外取締役が過半数を占め、かつ委員長を務めております。

社外取締役は各委員会の構成員としての職務を通じて企業統治体制構築に努めております。

また、取締役会においては、経営上の重要事項に係る意思決定と執行状況に関して、独立した立場から監督機能を発揮し取締役会全体の実効性の向上をはかっております。その監督にあたっては、株主のみならずははじめとした社外ステークホルダーの視点から「当行の持続的成長」を検討・判断の観点に加え意見を表明しております。

	氏名	専門性	分野	2020年取締役会出席率	三委員会
社外取締役	内上 和博	弁護士	企業法務	100%	報酬委員会100% 監査委員会100%
社外取締役	南保 勝	博士	経済学	100%	指名委員会100% 監査委員会100%
社外取締役	三屋 裕子	企業経営者	企業経営	93.33%	指名委員会100% 報酬委員会100%

取締役会の実効性の分析・評価の実施

2021年3月、「社外取締役連絡会」による分析・評価結果および提言事項に基づき、取締役会において実効性の分析・最終評価を実施するとともに、取締役会の実効性の一層の向上に向けて取り組む事項を議論・確認いたしました。

総評

当行の取締役会は、当行の規模に即した員数(執行役兼務取締役5名、取締役4名(うち社外取締役3名)、執行役4名)が確保され、社外取締役を含め自由な意見・提言による議論が行われております。また、指名委員会等設置会社の特徴である、執行役による業務執行機能と、社外取締役を中心とした監督機能は有効に機能しております。以上により、取締役会の実効性は確保されているものと判断・評価いたしました。

グ、株主総会質疑要旨のHPへの掲載により、情報発信を行っております。また、全役職員によるSDGsバッジ着用、名刺へのSDGs記載など、非対面での情報発信としてホームページ、SNS、地元新聞社等を活用した広報などにより、積極的に当行の情報発信を行っております。また、2020年12月にオープンした新店を起点に、当行のこれまでの歴史、理念、取組み等について、見学会の積極的な受け入れにより効果的に発信しております。

2020年度の取組み

取締役会の実効性向上に向けて、特に、以下の事項に取り組ましました。

- ①取締役(会)におけるIT技術を活用したデジタル化(デジタルライゼーション)に関する知見の高度化について
デジタルライゼーションに関する報告・決議については、社外事前連絡会にて担当部署の職員が直接質疑に回答し、内容の充実を図っております。また、組織改編による経営戦略と一体となったIT戦略の企画・立案・推進を担う専門部署の高度化により、銀行全体のITリテラシーの向上を図っております。今後は、福井銀行グループ全体の経営戦略との連動・整合性を踏まえたITガバナンス態勢の強化が重要であることから、重点的に取り組んでまいります。
- ②株主・お客さま・地域への情報発信の強化・継続実施
対面での情報発信として、統合報告書を活用したお客さまへの訪問活動や、機関投資家とのオンラインによる個別ミーティング

今後の取組み

下記の事項に取り組むことで、当行の取締役会の実効性をさらに高めてまいります。

- ①取締役(会)における福井銀行グループ全体の経営戦略との連動・整合性を踏まえたITガバナンス態勢の強化
金融業界において、RPA、AI、クラウド、API等のIT技術の高度化に伴って、今後もこれらを活用したデジタル化がさらに進展していくことが予想されます。そのような環境の中で、福井銀行グループ全体として適正な経営判断を行っていく上で、取締役(会)におけるデジタルライゼーションに関する知見をより高度化し、ITガバナンス態勢の強化による企業価値の創出が益々必要になってまいります。取締役(会)における、デジタルライゼーションに関する知見のさらなる高度化とITガバナンス態勢の強化を図ることによって、グループ全体の安定的な成長につなげてまいります。



発行 2021年7月

株式会社 福井銀行
経営企画グループブランド戦略チーム

〒910-8660 福井市順化1丁目1番1号

TEL.0776-24-2030(代表)

インターネットホームページアドレス

URL <https://www.fukuibank.co.jp/>

